

テレコン付き非常通報装置

WhiteLock21AN

取扱説明書



製品をお使いになる前に、本書をお読み下さい

PDF を画面でご覧の方は目次や参照ページをクリックすると該当ページに移動します。
また文章から移動する箇所もあります。

重要事項

本製品は、医療機器、原子力施設機器、航空機器、交通関連機器など、ひとたび事故が起こると生命、財産に関わる重大な損害を与えるおそれのあるシステムには使用しないで下さい。

本製品を組み込んだお客様の製品に起因して発生したいかなる損害に対しても、弊社では一切の責任を負いません。本製品の仕様、デザインなどは改良のため予告なしに変更する事があります。

はじめに（必ずお読み下さい）

この度は、「WhiteLock21AN」をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。

本製品は、外部からの入力信号に応じて一般電話回線から携帯電話機、PHS 電話機、一般電話機などに音声メッセージや文字メッセージ（SMS メールまたはEメール）で自動通報する装置です。

この「非常通報装置 WhiteLock21AN 取扱説明書」の本文中においては、「WhiteLock21AN」を「WL21AN」と表記させていただいております。あらかじめご了承下さい。

●NTT 仕様のアナログ回線 [2 線式のプッシュ回線またはダイヤル回線(20PPS)]、PBX(2 線式外線発信回線)、ISDN 回線なら TA (ターミナルアダプタ) のアナログポートが利用できます。

※ダイヤル回線でのご使用時は、STP ボタン(停止ボタン)を押しながら電源を入れる必要があります。

●ビジネスホン回線、ホームテレホン回線での使用は出来ません。これらの回線に接続して通報動作を行いますと、WL21AN が故障します。

●文字メッセージ (Eメール) 通報する際には、「メール送信システム」(有料)をご使用下さい。携帯(SMS)メール通報する際には「ドコモショートメール」を使用します。

●WL21AN の誤作動、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承下さい。

●WL21AN お使いになる前に、本書をよくお読み頂き、手順に沿って動作を確認の上ご使用下さい。特に通報先の電話番号の間違いには十分ご注意下さい。この説明書は、本製品の側などいつも手元においてお使いください。

●WL21AN は付属品を含め、改良のため予告なく装置全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承下さい。

●WL21AN は、ご購入直後の状態ではそのまま使用することができません。弊社製品サイトより設定用ソフトウェアと USB ドライバをダウンロードしていただき、パソコンにインストールし設定を行う必要があります。また、音声通報する場合は録音も行って下さい。

●設定後は本書の説明にしたがって動作確認をしてからお使いください。

※本取扱説明書に掲載のパソコン画面は、Windows10 (Pro) を例にしてあります。

※本取扱説明書に掲載の設定ソフトは WhiteLock21A_N 設定ソフト Ver1.00 の画面が掲載されています。

通報を受ける際の注意事項

通報先は、**呼出音を 3 回以上鳴らしてから**受話器をとってください。受話器をすぐに取りますと、何回も通報を繰り返します。また、音声メッセージも流れません。

携帯電話で通報を受ける際の注意事項

通報先で音声メッセージが流れない場合

①通報先の携帯電話が i モード通信中で、音声着信を「着信応答」にしている場合などに「おかけになった電話はただいま呼び出しています。しばらくお待ち下さい。」とアナウンスが流れます。この間、通報先の着信音は鳴っているのに、電話をかけた側には呼出音(プルル音)が聞こえない状態です。呼出音(プルル音)が聞こえませんが、WL21AN は回線が繋がった事を認識せず、**音声メッセージを流しません。**

【解決方法】通報先は5回くらい呼出音を鳴らしてから電話に出ますと正常通報します。

②通報先の携帯電話が『メロディコール』(ドコモ)又は『待ちうた』(au・ソフトバンク)サービスに契約されていると、電話をかけた側には、呼出音(プルル音)に音楽が混じって(又は音楽のみ)聞こえます。呼出音(プルル音)が聞こえませんが、WL21AN は回線が繋がった事を認識せず、**音声メッセージを流しません。**

【解決方法】通報先の携帯電話機から設定変更すれば正常通報します。着信電話番号(通報装置から発信する番号)の設定をプルル音に変更して下さい。

製品の最新情報、バージョンアップはインターネットでご確認できます。

製品ホームページ <https://www.adocon.jp/>

* 本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

* 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

安全にお使いいただくために

本製品の誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐために、本文中に示す「警告マーク」および「注意マーク」の意味を十分理解していただき必ずお守り下さい。

この取扱説明書では動作設定および操作の手順について解説しています。内容をご理解いただいたうえ、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

警告マーク及び注意マーク表示について



警告

この表示の警告事項を無視して本製品の取り扱いをすると、本製品が誤動作し、人命、身体に関わる死傷事故、財産に対する損害事故が生ずる可能性があります。また、法律違反になる場合があります。

弊社では、この事に起因するいかなる損害に対し一切の責任を負いません。



注意

この表示の注意事項を無視して本製品の誤った取り扱いをしますと、本製品が破損、又は通信不能や誤動作する場合があります。

弊社では、この事に起因するいかなる損害に対し一切の責任を負いません。

警告と注意



警告

本製品は、人命や身体、財産に関わる重大事故の発生するおそれのある設備や機器としての使用や、それらに組み込んで使用しないで下さい。また、それら施設の周辺で使用しないで下さい。

電波による誤動作を引き起こす可能性がある医療機器の近くでは使用しないで下さい。

航空機、原子炉施設などの重要施設等での使用はしないで下さい。

本製品を使用したシステムを設計する場合は誤動作防止、火災発生対策など安全設計をして下さい。

軍事目的（武器、テロ行為）や、軍事関連施設では使用しないで下さい。

本製品は、日本国内仕様となっていますので、海外での使用は出来ません。

本製品を使用するシステム、機器の安全対策を十分に行って下さい。

以下のような環境あるいは、本製品の定格や仕様の範囲を越えた使用はしないで下さい。

- ・本商品は精密機器です。塵・ほこり・水滴等により故障することがあります。
- ・振動や衝撃が加わる場所。高温、低温になる場所や温度差が急激に変化する場所。閉め切った車内、ストーブ、ヒータ、冷凍庫、本体の放熱を妨げる場所など。
- ・湿度や水気が多い場所。浴室内、台所の流しや湯気の当たる場所。雨や雪のかかる屋外、直射日光が当たる場所。
- ・強い電波や磁力、静電気が発生する場所。腐食性ガスの発生、化学物質の付着するおそれのある場所。

以下のような取扱いは絶対にしないで下さい。

- ・本製品を落下などの衝撃を加えないで下さい。
- ・本製品の上には、重い物、液体などを置かないで下さい。
- ・異常発熱や発煙の原因となる為、本製品内に金属などの異物が入らないようにして下さい。
- ・電源供給線の誤配線が無いようにして下さい。
- ・手や体が電源部に接触すると感電する事がありますので、ご注意下さい。
- ・煙が出るなど、異臭がした場合は直ちに電源供給を停止し使用を中止して下さい。
- ・感電の恐れがありますので、電源を入れた状態では施工しないでください。
- ・本体は、屋内での使用を前提に設計されています。屋外でご使用の際には使用条件定格内になるように工夫してご使用ください。
- ・本体内部に異物等が入らないようにご注意ください。

注意

本体の分解・改造は行わないでください。本体内部は静電気に極めて弱い部品が使用されています。本体に触る前に人体の静電気を逃がしてください。

異常発熱や発煙を防止するため、本製品の保障特性・性能の数値に少し余裕を持たせて使用してください。

本体もしくはそれに接続されている部分から異臭がした場合や、過熱や煙が出たりする場合は、ただちにご使用を止め、電源を切り、取り外してお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。

本製品を長期間使用しない場合は、購入時の箱に入れて保管して下さい。

本書の内容のコピーや転載を無断で行わないで下さい。著作権法により禁止されています。

ACアダプタは必ず付属品をご使用ください。他の製品の流用は絶対にお止め下さい。

通報装置は、登録された電話番号が正しく設定されているかどうか認識できません。従って、誤った電話番号を登録されると内容によっては多額の電話代がかかる場合があります。設定後には動作試験(メール通報の場合メールの受信を確認してください)を必ず実施してからご使用下さい。また通報先に登録してある電話番号を解約された際にも、通報装置の設定修正・動作試験を行ってください。

設置場所について (必ずお読み下さい)

本体を次のような場所に設置しないでください。動作が不安定になるなど、おもわぬ火災や故障の原因になる場合があります。

- ・ 急激な温度変化や湿度変化がある場所。
- ・ 結露するような場所。
- ・ 直射日光が当たる場所。
- ・ 水気、火気のある場所。
- ・ 粉塵等のほこりの多い場所。
- ・ 不安定な場所や振動がある場所。
- ・ 強い磁気や電磁波を発生する機器の近く。
- ・ 腐食性ガスのある場所。
- ・ 気化した薬品や化学反応をおこす様な場所。空気中に塩分が含まれている場所。
- ・ 鉄粉がある場所。

お願い

本体やケーブル等は、小児の手が届かない場所に保管、設置してください。長期間にわたって無人で使用する場合は、必ず定期的に保守・点検を行ってください。

初期不良について

初期不良対応は**商品到着後 14 日以内**です。また、弊社の発送間違いの場合も交換させていただきます。なお、初期不良で売り切れ商品につきましては、同機種に交換できない場合があります。その場合、修理対応とさせていただきますか、弊社によるお引取りにて対応させていただきます。

製品保証について

本製品の保証期間は、ご購入の日から1年間です。保証期間を過ぎた場合は有償修理となります。ただし、「警告と注意」の項に掲げた環境や使用状況での故障については、保証期間であっても有償修理となります。保証に関する詳細は製品に添付の保証書をご覧ください。

雷による故障について

雷による故障は保証期間内であっても保証対象外となります。対策として、回線側と電源側に避雷器を取り付けられる事をおすすめします。弊社では避雷器の販売をしておりませんので別途ご用意下さい。

製品修理について

本製品の正しいご使用方法にも関わらず発生した故障に対し、製品の保証期間中（ご購入後1年間）は無償で修理いたします。保証期間を過ぎている場合は有償修理となります。

修理に出される前には、弊社ホームページの製品別 Q&A に同様な事例がないかご確認下さい。また、もう一度故障状況もご確認いただき、弊社営業担当者まで事前にご連絡をお願いします。

修理品は宅配便などで弊社までご送付下さい。

修理内容の明記

修理に出す場合は、必ず故障の内容や状況を具体的に明記し、修理品と一緒に送って下さい。

修理料金について

修理料金は、技術料、部品代、送料で構成されます。

送料について

- ・保証期間内：返送費用は弊社負担とさせていただきます。
弊社までの送料はお客様でご負担下さい。
- ・保証期間外：お客様の負担となります。

※出張修理は行いません。

ご連絡、お問い合わせ先

各種問い合わせは、下記の連絡方法がございます。また、弊社のホームページには技術情報ならびに最新情報、Q&A などが掲載されていますのでご覧下さい。

インターネットメールによるお問い合わせが、簡潔で間違いが無く、内容が伝えやすいのでとても便利です。

技術的なお問合せに関しては、開発環境や問題となっている事柄などを具体的にとりまとめた後にご連絡下さい。

■ インターネットメール

Eメールアドレス：eiyou@adocon.co.jp

宛先：株式会社アドコン 営業担当宛

■ 電話

電話番号：0852-54-2036

受付時間： 9:00 ~ 12:00

13:00 ~ 17:00

※営業日は平日のみとなっております。

■ FAX

FAX 番号：0852-54-2196

宛先：株式会社アドコン 営業担当宛

■ 郵便

郵便番号：690-2101

住所：島根県松江市八雲町日吉 3-24

宛名：株式会社アドコン 営業担当宛

■ ホームページ

弊社ホームページには製品毎のカタログ、取扱説明書ならびに新着情報、Q&A などが掲載されていますのでご覧下さい。

ホームページアドレス <https://www.adocon.jp/>

QR コード



目次

ご使用の前に.....	8
略称、商標について.....	8
制限事項.....	8
接続する電話回線について.....	8
本体の操作について.....	8
本体内蔵の電池について.....	8
製品概要と特徴.....	9
概要.....	9
特徴.....	9
パッケージ内容の確認.....	10
旧WhiteLock21A_RNとの違い.....	10
PBX（内線交換機）での使用について.....	11
PBX回線で確認するところ.....	11
PBXの仕様で確認するところ.....	11
その他の注意点.....	11
各部の名称とその機能.....	12
本体外観.....	12
動作設定.....	13
設定ソフトのインストール.....	13
弊社ホームページの「ダウンロード」を利用する場合.....	13
セットアップファイルの解凍.....	13
設定プログラムセットアップ.....	14
CDからインストールする場合.....	15
USBドライバのインストール.....	16
Windows7、Windows8、Windows10での自動インストール.....	16
設定に使用するパソコン.....	16
設定ソフトウェアの起動.....	17
通報先の設定.....	17
通報先の電話番号.....	18
外線発信番号.....	18
音声通報する場合.....	18
メール送信システムへ通報する場合.....	19
携帯メール（SMS）通報する場合.....	20
タダ電通報する場合.....	20
全体の設定.....	21
通報を終了する条件.....	21
停電や復電時に通報する.....	21
解除呼出の方法.....	21
入力信号の接点仕様.....	22
テレコン.....	22
電源ON時に60秒間入力信号を無視する.....	22
送信メッセージの編集.....	23
メール送信システムへ通報する場合.....	23
携帯メール（SMS）通報する場合.....	24
入力信号1～8.....	24
全解除.....	24
停電・復電.....	24
文字数.....	24
通信ポートの確認.....	25
通信ポートを自動的に検出する.....	25

通信ポート指定.....	25
本体とパソコンの接続.....	25
設定内容の転送.....	26
本体バージョンの確認.....	27
本体から設定内容を読み込む.....	27
設定内容の転送・読み込みが出来ない場合.....	28
設定内容の保存と読み込み.....	30
新規作成.....	30
設定ファイルを開く.....	30
上書き保存.....	30
名前を付けて保存.....	30
本体から設定を読み込む.....	30
終了.....	30
以前に編集したファイル.....	30
録音再生.....	31
録音再生の概要.....	31
出荷時の録音内容.....	31
録音内容の例.....	31
通報時の再生例（通報先で再生される内容）.....	32
録音再生の操作方法.....	32
動作確認.....	33
呼出の種類と通話時間.....	34
通報の種類.....	34
音声通報.....	34
タダ電通報.....	34
メール送信システムによるEメール通報.....	34
携帯メール(SMS)通報.....	34
1回の通報にかかる通話時間.....	34
標準設定の時.....	35
全解除呼出設定.....	35
個別解除呼出.....	36
停電時発信.....	36
通報終了の条件.....	37
1つの通報先を終了する条件.....	37
複数の通報先を終了する条件.....	37
「全ての通報先に通報できたら終了」.....	37
「通報先の何所か1カ所に通報できたら終了」.....	37
通報を終了するまでに発生した警報.....	38
テレコン.....	39
入力信号の状態を確認するとき.....	39
入力信号の状態を音声で聞く.....	39
パスワードを間違えた場合.....	39
出力信号をON/OFFするとき.....	40
出力信号1をON.....	40
出力信号1をOFF.....	40
パスワードを間違えた場合.....	40
コマンドを間違えた場合.....	41
注意事項.....	41
設置方法.....	42
設置場所を決める.....	42
接続工事.....	42
本体側の電話回線.....	42
他の電話機やFAXなどの回線と併用するとき.....	42
電話回線の終端に接続する場合.....	42

モジュラージャックを分配する場合	42
入力端子接続	43
接続	43
端子台	43
センサー用電源5V出力	43
壁掛けブラケット	43
ACアダプタの接続	44
運転の開始	44
信号入力部の内部回路	44
信号出力部の内部回路	44
リレーユニット (オプション品)	45
センサー用電源5V出力を使用した接続	45
外部電源を使用した接続	45
通報の受信	46
受信装置	46
音声通報を電話機で受信したとき	46
タダ電通報を受信したとき	46
メール送信システム(有料)を利用した場合	46
携帯メール(SMS)を受信したとき	46
動作モニタ	47
表示モニタランプ	47
起動時	47
設定モードのとき	47
通報の状態から見たとき	47
ランプの点灯状態から見たとき	47
電池について	48
ニッケル水素充電電池	48
Q & A 困ったときにご覧下さい	49
一般的なご質問	50
通報・設定についてのご質問	52
メール送信システムについてのご質問	55
携帯メール(SMS)通報についてのご質問	56
テレコンについてのご質問	57
設定ソフトについてのご質問	57
こんなときには	58
設定ソフトウェアのアンインストール	58
本体を清掃するときは	58
仕様	59
「WhiteLock21AN」 本体	59
設定ソフトウェア	59
外形図	60
壁掛けブラケット外形図	61
ACアダプタ外形図	61
バージョン	62
更新履歴	63
索引	64

ご使用の前に

略称、商標について

記載の会社名または製品名は各社の登録商標です。

制限事項

本製品は日本国内での使用を目的に設計されています。国外でのご利用は出来ません。

接続する電話回線について

本体と**接続可能な電話回線**は下記の通りです。

1. NTT 仕様のアナログ回線（2 線式のプッシュ回線またはダイヤル回線）です。

※ダイヤル回線でのご使用時は、STP ボタン(停止ボタン)を押しながら電源を入れて下さい。

ADSL 回線・ISDN 回線・IP 電話・光電話等の場合は、専用の信号変換機器やモデム、ターミナルアダプタのアナログポートに接続できます。

注) モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

2. アナログ PBX 交換機を介して接続する場合には、NTT 仕様に準拠したものでなければなりません。
詳細は、「PBX (内線交換機)での使用について」11ページをご覧ください。

本体と**接続出来ない電話回線**は下記の通りです。

1. 携帯電話機、PHS、ビジネスホン回線、ホームテレホン回線、4 線式電話機、専用線に接続することは出来ません。

注) ビジネスホン回線・ホームテレホン回線に接続して通報動作を行いますと WL21AN が故障します。

本体の操作について

- ・電源スイッチを OFF にした直後に ON にすると内部 CPU が正しく起動しないことがあります。電源スイッチを OFF にして、再び ON にする際には、3 秒以上待ってから ON にして下さい。
- ・電源プラグを差し込む時は、WL21AN の電源スイッチを OFF にした状態で差し込んでください。
- ・設定ソフトで設定を行った後は、実際に発信させて通報先で正常に受信できる事を確認して下さい。
- ・入力接点毎に異なる通報先の設定はできません。
- ・出荷状態では設定されていません。この状態では入力信号が「警報発生」になっても通報しません。
- ・再呼出機能については、同一の通報先を複数設定することにより対応しています。

本体内蔵の電池について

出荷時、本体内蔵の電池は完全に充電されていないのでご注意ください。AC アダプタを WL21AN と商用電源に接続した状態が、72 時間（3 日間）経過すれば満充電となります。

製品概要と特徴

概要

本製品は、電話回線に接続して通報を行います。接点信号が入ると、あらかじめ設定された通報先へ音声メッセージまたは文字メッセージにて通報します。

特徴

- ・PBX(内線交換機)にも対応
PBX交換機の内線間への通報や、外線への通報に接続するときの発信機能を装備しています。
- ・接点入力8点+センサー用電源5V出力
入力点数が8点あり、様々なセンサーや機器類も接続できます。また、センサー等の電源供給用として電源5V出力を装備しています。
- ・外部入力毎にIC録音された内容で自動通報
圧縮無し直接録音方式なので、音質良好です。録音は何度でも可能で、録音内容は半永久的に保持します。
- ・最大6カ所までの通報が可能
最大6カ所までの通報先が指定出来ます。
- ・通報終了の条件も指定可能
「全ての通報先に通報」または、「通報先の何所か1カ所に通報」から選択できます。
- ・メール通報はEメールが可能
「メール送信システム」(有料)に登録することで、最大30カ所までEメール通報が可能です。または、携帯メール(SMS)通報(通報先はドコモ回線を契約されたSMS受信が可能な携帯端末に限ります)が可能です。どちらも、メッセージ内容は入力信号ごとに設定できます。
- ・テレコンも可能(制御出力4点)
一般回線、携帯電話機から「WL21AN」に電話をかけ、プッシュボタンで動作をコントロールできます。
*テレコン(テレコントロール)とは、外部から電話を使って、機器の状態確認や制御することです。
*トーン信号が出ない携帯電話機からのテレコンは出来ません。
- ・動作確認
自動着信により、現在の入力信号の状態や停電状態を音声で確認できます。
- ・停電時用の電池を内蔵
停電が発生したときに停電通報が可能です。
- ・停電・復電通報を標準装備
停電・復電通報は、設定ソフトにチェックを入れるだけです。外部から停電信号を接続する必要がありません。
- ・小型で制御盤内への組込が容易
本体重量は約300gと軽量です。本体サイズも非常にコンパクトなので制御盤内への取り付けも簡単に行えます。また、壁掛けブラケットも付属していますので、ワンタッチで取り外しが可能です。
- ・入力信号ごとに接点仕様の設定が可能
入力が短絡状態になったときに通報するのか、開放状態になったときに通報するのかを入力毎に設定が可能です。設定ソフトの所定箇所にチェックを入れるだけで切り替えできます。
- ・低価格
他社の半分以下の超低価格。もう通報装置にお金をかける必要はありません。

・ 設定用パソコンソフト (Windows 7、8、10 用)

設定ソフトのインストールや設定はとても簡単です。最新の設定ソフトは、弊社製品サイトからいつでもダウンロードしてご利用できます。設定内容の転送に必要なUSB通信ケーブルは、製品に標準添付しています。

パッケージ内容の確認

製品をご使用になる前に、パッケージに以下のものが全て揃っているか確認してください。不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。

名称	画像
本体	
壁掛けブラケット (フック部品はケースに取付済み)	
USB ケーブル (A-B)	
AC アダプタ (スイッチング式)	
モジュラーケーブル	
電池 (本体に内蔵済み)	
端子台(5極・10極) (本体に取付け済み)	
保証書	—

※商品の色合いは、実物と多少異なる場合がありますのでご了承ください。

※商品の仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承下さい。

※取扱説明書、設定用ソフトウェアは本製品に付属しておりません。

取扱説明書、設定用ソフトウェアは製品ページから最新版をダウンロードしてお使い下さい。

製品サイト <https://www.adocon.jp/>

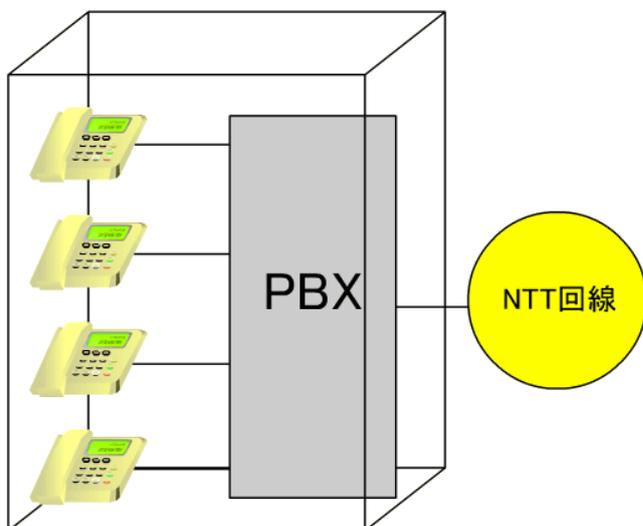
取扱説明書 (モノクロ A4 版) や、設定用ソフトウェア (CD-R 版) を別途購入して頂くことも可能です。ご購入の際には販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

旧 WhiteLock21A_RN との違い

- ・ 設定スイッチが無くなりました。
- ・ 回線の自動判別が無くなり、プッシュ回線が標準設定となりました。
※ダイヤル回線でのご使用時は、STP ボタン(停止ボタン)を押しながら電源を入れる必要があります。
- ・ 音声メッセージ録音・再生時のスピーカーとマイクを搭載し、イヤホンマイクが不要となりました。
- ・ 本体を固定するプラスチック取付足を壁掛けブラケットに変更し、ワンタッチで取り外しが可能となりました。
- ・ WhiteLock21AN 専用の設定ソフトでのご使用となり、WhiteLock21 設定ソフト Ver1.4.6 と Ver2.0.0 でのご使用は出来ません。
- ・ AC アダプタがトランス式からスイッチング式になりました。

PBX（内線交換機）での使用について

PBX（内線交換機）とは構内電話交換機のことをいいます。電話局で使われている局内交換機に対応するもので、企業内に設置して外線電話と内線電話同士を交換する装置のことを言います。

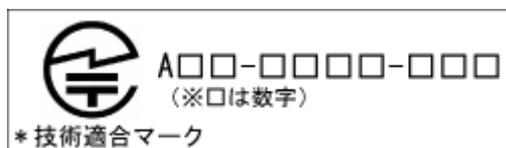


PBX 回線で確認するところ

接続する回線がビジネスホン回線ではない事をご確認下さい。NTTの電話機（家電量販店・ホームセンターなどで販売している物）を内線へ接続し、外線に電話がかかる回線であればWL21ANを接続出来ます。

※ビジネスホン回線へWL21ANを接続して通報動作を行いますと、WL21ANが故障します。

電話回線に接続されている電話機の技術基準適合認定番号でも、ビジネスホン回線の確認が出来ます。電話機には、技術適合マークと認定番号が記載されています。電話用設備（一般電話機など）の認証番号は「A」で始まります。一例として、ビジネスホン端末機器の認定番号の始まりは「ACD」と表示されています。



ビジネスホン回線は、主装置に認証番号が記載されている事があります。電話機に記載が無い場合はビジネスホン回線の可能性があります。※左図は、一般電話機の記載例です。

PBX の仕様で確認するところ

受話器を上げたとき	DT（発信音）…400 Hz の連続、または、PDT（内線発信音）…400 Hz 0.25 秒 ON 0.25 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手が話中のとき	BT（話中音）…400 Hz 0.5 秒 ON 0.5 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手呼び出しているとき	RBT（呼出音）…400 Hz 1 秒 ON 2 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手が電話を切断したとき	BT（話中音）…400 Hz 0.5 秒 ON 0.5 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。 数回鳴って無音になってしまう PBX は使えません。

※第2ダイヤルトーン（SDT）0.125 秒の ON/OFF にも対応しています。

※発信音が500HzのPBXや、話中音が440HzのPBXもあります。これらはPBXのメーカーに問い合わせてください。また、上記説明で、0.25秒のところは0.2秒のPBXがありますが、これは使用できません。

※発信音がこの条件と異なる場合、PBXの設定で変更可能な場合があります。PBXのメーカーか設置業者に問い合わせてください。

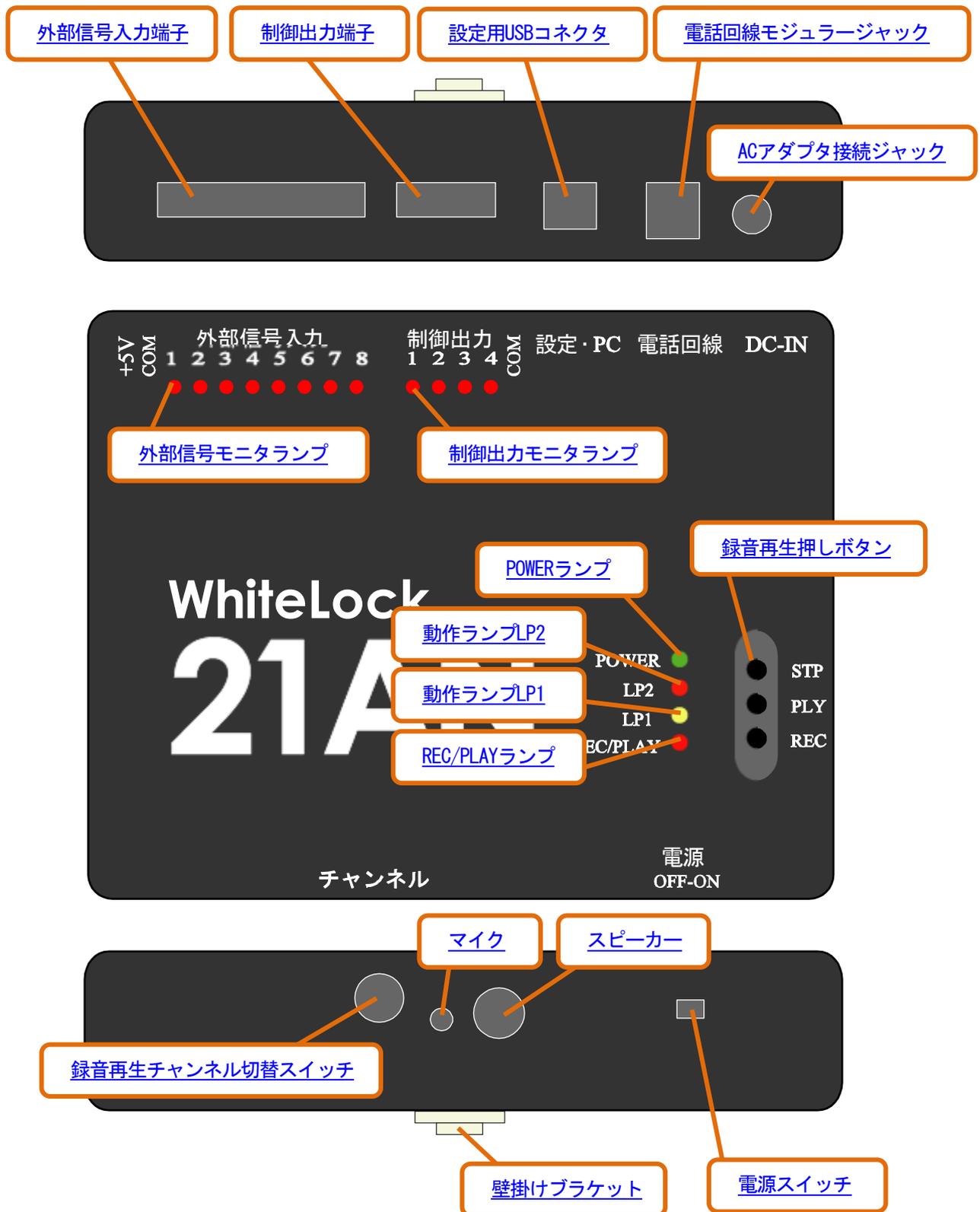
※音声通報で、電話を切った後のBT（話中音）が400 Hz 0.5 秒 ON 0.5 秒 OFF の繰り返し音でないと、正常に通報終了しません。PBXで電話を切った後の話中音の周波数が使用と異なる場合は、通報先が#を押すことで通報終了とさせることができます。

その他の注意点

外線電話番号の最初に「186」を付けると電話がかからないPBXもあります。この場合は「186」を付けない設定で使用してください。また、外線発信を行う設定にすると、通報装置は指定番号の発信を行ってから約1秒待つてダイヤルを開始します。外線発信番号と待機時間は設定ソフトで変更できます。

各部の名称とその機能

本体外観



動作設定

WL21AN は、ご利用の前に通報動作に必要な条件や電話番号などを登録しておく必要があります。設定を行っていないWL21AN は、電源を入れてもご利用になれません。この登録は、パソコンに「設定ソフトウェア (Windows 7/8 /10 用)」と USB ドライバをインストールしたもので行います。設定ソフトウェア、USB ドライバは弊社ホームページからいつでもダウンロードできます。

ご自分で設定ができないときは、パソコンを持っている方にお問い合わせするか、弊社に設定をご依頼ください。また、ご購入後の設定変更も承ります (どちらも有料で、別途送料が必要です)。

設定ソフトのインストール

設定ソフトをパソコンにインストールするためには、インストーラーソフトを入手する必要があります。

* 下記は Windows10 (Pro) で確認しています。他の環境では、動作や表示が異なる可能性があります。

* パソコンを起動し、管理者権限 (Administrator) でログインします。インターネットが利用出来る事を確認し、起動中のアプリケーションを全て終了します。

弊社ホームページの「ダウンロード」を利用する場合

※ソフトウェアをインストールする前に、実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。

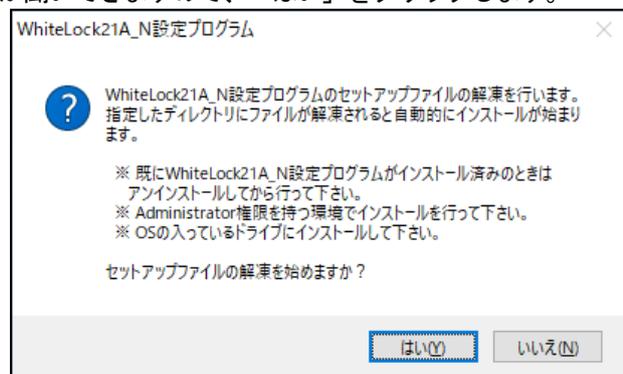
- ① 弊社ホームページのトップ画面の「ダウンロード」を選択します。



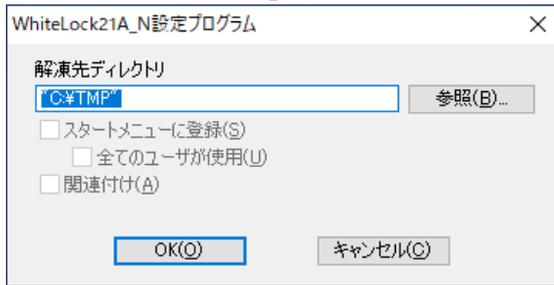
- ② ダウンロード画面では「設定ソフト」を選択します。
 ③ 「設定ソフト」画面では「WhiteLock21AN」を選択します。
 ※ 「WhiteLock21A_RN/WhiteLock21A (A タイプ専用)」 (Ver2. 0. 0)、「WhiteLock21A_RN/WhiteLock21A/WhiteLock21D」 (Ver1. 4. 6) ではご使用頂けませんので、ご注意ください。
 ④ 「設定ソフト README. txt」を開き、インストール方法の内容を確認して下さい。
 ⑤ 「設定ソフトダウンロード」をクリックするとダウンロードを開始します。

セットアップファイルの解凍

- ⑥ ダウンロードした「WL21A_N Setei Ver1. exe」をダブルクリックするとセットアップファイルの解凍を開始するか聞いてきますので、「はい」をクリックします。

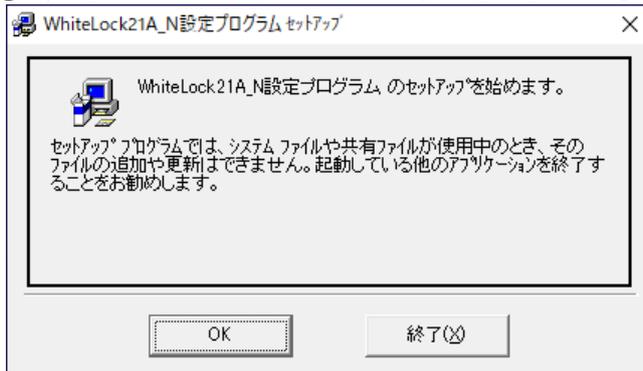


- ⑦ 解凍先のフォルダを指定します。このまま「OK」をクリックします。
下記の例では「C:\TMP」としています。



設定プログラムセットアップ

- ⑧ 設定プログラムのセットアップが表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。

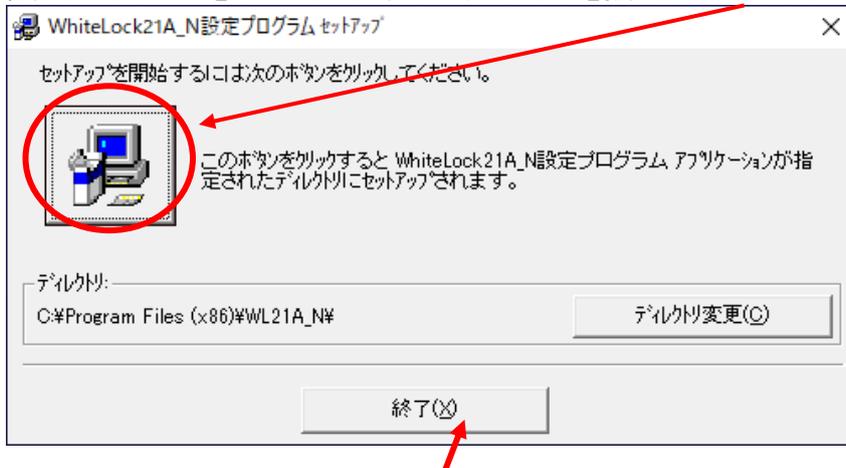


下記画面が表示されます。

インストール先のディレクトリを変更したい場合は、[ディレクトリ変更(C)] ボタンをクリックして変更します。

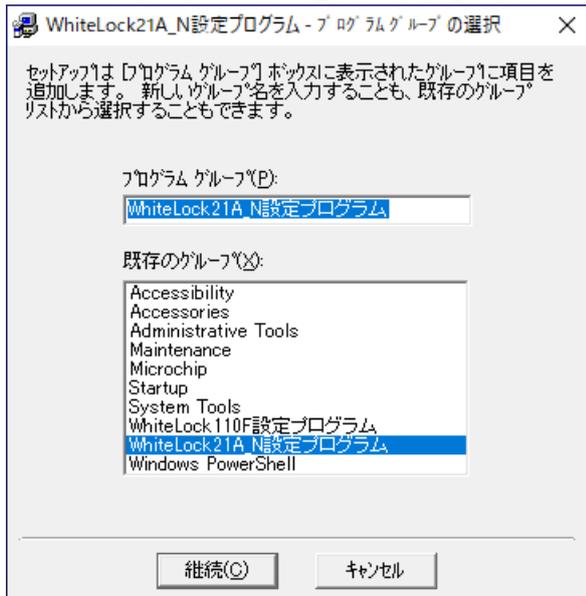
※インストール先のフォルダは、必ず OS 直下のフォルダを指定します。

設定ソフトウェアをインストールするディレクトリを指定して大きなボタンをクリックします。

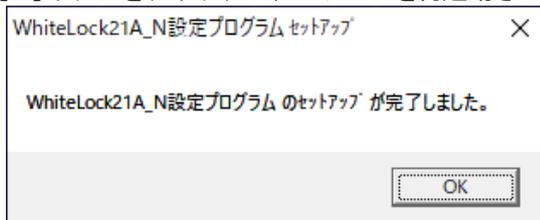


インストールを中断しない限り、[終了(X)] ボタンをクリックしないで下さい。
[終了(X)] ボタンをクリックすると、インストールせずに終了してしまいます。

- ⑨ 「プログラムグループの選択」が表示されますので、確認して「継続」をクリックします。



- ⑩ セットアップが終了すると完了画面が表示されます。
[OK] ボタンをクリックし、パソコンを再起動させて下さい。



CD からインストールする場合

※ソフトウェアをインストールする前に、実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。

CD をドライブに入れると、自動再生が出ます。「フォルダを開いてファイルを表示...」を選択し、「WL21A_N Ver1.0.exe」をダブルクリックします。

「ホームページからダウンロードする方法」の「セットアップファイルの解凍」と同じ画面が表示されます。

手順は同じですので、13ページを参照下さい。

USB ドライバのインストール

設定ソフトで設定した内容を本体に転送するには専用のデバイスドライバのインストールが必要です。

※パソコンを起動し、管理者権限 (Administrator) でログインします。インターネットが利用出来る事を確認し、起動中のアプリケーションを全て終了します。

弊社ホームページの「ダウンロード」画面を開きます。

① 弊社ホームページのトップ画面から、下記を選択します。
「ダウンロード」→「設定ソフト」→「USB ドライバ」

② 「USB ドライバのインストール方法 PDF」を選択し、内容を確認して下さい。

※インストール方法は紙に印刷して、お手元に置いた状態でのインストールをおすすめします。

※このインストール方法の説明(PDF形式)は、表示された画面の「ファイル」－「名前を付けて保存」で任意のフォルダに保存しておくことが出来ます。

インストール時には WhiteLock21AN 本体と付属の USB 通信ケーブルが必要です。この時、本体に AC アダプタは接続しません。

Windows7、Windows8、Windows10 での自動インストール

ダウンロード画面の「USB ドライバのインストール方法 PDF」を参照下さい。

※自動インストールは、パソコンがインターネット高速回線(光回線又は ADSL 回線)に接続されていなければ出来ません。

設定に使用するパソコン

設定を行う場合、以下の仕様のパソコンが必要です。

・ CPU	Pentium150MHz 以上
・ OS	日本語 Windows 7、Windows 8、Windows 10
・ ハードディスク	インストールに 7M バイト程度の空きエリアが必要
・ メモリ	実装メモリ 64M バイト以上
・ モニタ	解像度 800×600 ドット以上が表示可能なカラーディスプレイ
・ ビデオカード	800×600 ドット以上で、256 色以上が表示可能なもの
・ USB ポート	USB ケーブル (設定内容を本体に転送する時に使用)

- * USB ケーブルは本製品に付属しています。
- * 記載の無い OS で動作する場合もございます。
- * Windows7 の場合、XP モード変換でないとうまく動作しない場合があります。
- * Windows98 /Me /2000 /Vista /XP のサポートは終了しました。
- * 既にインストール済みのソフトウェアやハードウェアの設定、その他の状況により、設定ソフトが正常に動作しない場合もあります。
- * 弊社ホームページからWL21AN設定ソフトウェアとUSBドライバをインストールしてからご使用下さい。
<https://www.adocon.jp>

設定ソフトウェアの起動

[スタート]メニューから[プログラム]の[WhiteLock21A_N 設定]を選択して設定ソフトウェアを起動して下さい。
「WL21AN」の設定画面は、「通報先の設定」「全体の設定」「送信メッセージ編集」の3つがあります。中央上の「タブ」をクリックして3つの画面を切り替えます。

画面の各設定項目上にマウスポインタを移動させると、項目毎の説明が表示されます。

- * 「通報先の電話番号」は必須入力です。未入力の場合や、間違った入力がある場合は、赤い文字で表示されます。
- * 「WL21AN」への転送は何回でも行えますので、最初は練習のつもりで色々変えて転送してみてください。

通報先の設定

通報先を最大6ヶ所まで指定できます。

- ・ 録音した音声で通報する場合は、「一般電話機・携帯・PHS等(録音した音声で通報)」を選択します。
- ・ 「メール送信システム」(有料)を利用してEメール通報する場合は「非常通報メール送信システムへ通報」を選択します。
- ・ 携帯メール(SMS)通報する場合は、「非常通報メール送信システムへ通報」を選択します。
- ・ 呼出音を鳴らしてすぐ電話を切る場合は、「タダ電通報(呼出音を鳴らし電話を切ります)」を選択します。
- ・ 設定しない場合は「(設定しない)」を選択します。

下図の下矢印(▼)をクリックすると一覧が表示されます。

通報する順番は通報先1、通報先2、…通報先6となります。全ての通報先を「(設定しない)」にすると、どこにも通報しません。テレコンのみ使用したい場合は全て「(設定しない)」にしておきます。

※初期状態は全て「(設定しない)」になっています。

※通報先1から順に設定して下さい。

下記のような設定では、正常動作しないおそれがありますのでご注意ください。

- ・ 通報先2以降から設定した場合
- ・ 通報先1から最後の通報先までの間に「(設定しない)」を入れた場合

通報先の電話番号

- ・ 通報したい一般回線電話機、携帯電話、PHSの電話番号を入力します。
- ・ 通報先1カ所につき最大24桁まで入力できます。
- ・ 電話番号に、市外局番が必要な時は必ず入力してください。
- ・ 入力の際に、ハイフン（-）は入れないで番号部分のみ入力します。
- ・ PBX交換機の内線へ通報するときは、内線番号を入力します。
- ・ ダイヤル回線の場合は「#」や「*」は使用できません。
- ・ 発信者番号を通知する場合は、電話番号の先頭に「186」を入力します。

外線発信番号

下図は0発信して1秒後にXXXX-XXXXへ音声通報します。
コンマ（,）1つにつき0.5秒の待ち時間が設定出来ます。

「外線発信番号…」ボタンをクリックすると、右図の「外線発信番号」が表示されます。

- ・ 0をクリックすると「0,」が入力されます。
- ・ 「なし」をクリックすると、入力されたものが削除されます。
- ・ 「キャンセル」をクリックすると、何も変更せず「外線発信番号」が閉じます。

※外線発信番号をダイヤルした後の待ち時間が1秒では足りない場合はコンマ（,）を必要なだけ入力してください。
※コンマ（,）1つにつき0.5秒ずつ待ち時間が長くなります。「0,, ,XXXXXXXX」とすると2秒の待ち時間になります。

音声通報する場合

音声メッセージで通報する場合、「一般回線、携帯、PHS等（録音した音声で通報）」を選択します。

※光回線（IP回線）で繋がらない場合は、電話番号の後に「#」を入れてみてください。また、ダイヤル回線に設定すると正常に動作した事例がございます。

下図はXX-XXXX-XXXXへ音声通報します。

下図は通報先に内線番号がある場合です。
XX-XXX-XXXXへダイヤルし、2秒後にXXXX（内線番号）へ音声通報します。
コンマ（,）1つにつき0.5秒の待ち時間が設定出来ます。

※動作設定後は、必ず全ての通報先で音声メッセージを確認してからご利用ください。また、留守番電話にされる事がある通報先などは留守番電話での受信テストも十分に行ってください。

※弊社では設定間違いによる課金については一切の責任を負いかねます。

メール送信システムへ通報する場合

「メール送信システム」(有料)を利用すると、Eメール通報が可能です。システムの詳細については、ホームページを参照下さい。

- ・「メール送信システム」の設定は通報先1に設定されることを推奨します。
- ・「全体の設定」の「通報を終了する条件」は「**全ての通報先に通報出来たら終了**」にチェックを入れます。
- ・通報先2以降に音声通報を設定されておくと、メール送信システム異常時に安心です。この場合「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」の選択は出来なくなります。

「メール送信システム」(有料)をご使用される場合は、ユーザー登録シートによる登録が必要です。

※ユーザー登録シートは、ホームページの「メール送信システム」内にある「利用契約」より「同意してユーザー登録へ」へ進みますと、ダウンロード画面が表示されます。

※登録方法は登録シートに記載されています。

注) ユーザー登録されていても発信番号が複数ある場合は、ご使用いただけません。未登録の発信番号からの通報は、エラーとなります。

通報先の種類で「非常通報メール送信システムへ通報」を選択してください。

「通報先の電話番号」へは「1860852673441」を登録します。

※2020年12月31日で「05055025281」の電話回線は停止しました。

「データ送信設定」をクリックするとセンターの選択画面が出てきますので、「非常通報メール送信システム」を選択します。

※光回線(IP回線)で繋がらない場合は、「通報先の電話番号」の後に「#」を入れてみてください。また、ダイヤル回線に設定すると正常に動作した事例がございます。

手順詳細	文字の説明
通報先電話番号送信 15秒待つ	0~9*#...文字そのものをダイヤルします。...0.5秒待ちます。
メッセージ送信	D0...1秒待ちます。
#をダイヤル	D1...5秒待ちます。
5秒待つ	D2...10秒待ちます。
強制切断	D7...強制切断。
	D8...メッセージを送信します。
	D9...通報先電話番号を送信します。

注) 光電話(IP電話)は、ダイヤル発信後に回線が接続されるまで時間がかかる為、正常に動作しない場合があります。その場合「データ送信設定」画面で「センター選択」は「(ユーザー設定)」を選択し「手順文字列」に「D9D2D2D8##D7」と入力します。

注) モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

※動作設定後は、必ず全ての通報先でメールの受信を確認してからご利用ください。

※弊社では設定間違いによる課金については一切の責任を負いかねます。

携帯メール（SMS）通報する場合

携帯電話機へ SMS メール通報する場合、通報先の種類「非常通報メール送信システムへ通報」を選択してください。

※通報先はドコモ回線を契約された SMS 受信が可能な携帯端末に限ります。

下図は XXX-XXXX-XXXX へ SMS メール通報します。

「データ送信設定」をクリックすると「センターの選択」画面が出てきますので、「(ユーザー設定)」選択します。

そして、「手順文字列」へは「0903101655D2D1D9D2D8##」と入力します。

※外線発信番号が必要な場合は、「データ送信設定」の「外線発信番号」で入力します。

手順詳細	文字の説明
0903101655をダイヤル	0～9*#…文字そのものをダイヤルします。
15秒待つ	…0.5秒待ちます。
通報先電話番号送信	D0…1秒待ちます。
10秒待つ	D1…5秒待ちます。
メッセージ送信	D2…10秒待ちます。
##をダイヤル	D7…強制切断。
	D8…メッセージを送信します。
	D9…通報先電話番号を送信します。

注) ドコモ以外で契約された携帯端末の電話番号や、ドコモで契約された携帯端末でも SMS 受信拒否している電話番号を通報先に設定した場合、通報できずリダイヤルします。その為、多額の通信料が発生する恐れがありますので、ご注意ください。

注) 設定後にドコモ回線以外の携帯電話会社へ契約を変更された場合も、通報できなくなります。速やかに設定を削除、もしくは音声通報へ変更して下さい。

※PBX(内線交換機)から発信する場合、電話を掛け始めてから 15 秒以内に繋がらない回線では「手順文字列」へは「0903101655D2D2D9D2D8##」と入力します。

※WL21AN を接続する電話回線の契約が NTT 以外の場合、SMS センターに接続出来ない場合があります。

※動作設定後は、必ず全ての通報先で SMS メールの受信を確認してからご利用ください。

※弊社では設定間違いによる課金については一切の責任を負いかねます。

タダ電通報する場合

発信者番号通知で通報する場合、「タダ電通報（呼出音を鳴らして電話を切ります）」を選択します。

下図は XX-XXXX-XXXX へタダ電通報します。

全体の設定

全体の設定は2つ目のタブをクリックすると表示される下図の画面で行います。

通報先の設定 | **全体の設定** | 送信メッセージ編集

通報を終了する条件

全ての通報先に通報できたら終了

通報先の何所か1か所に通報できたら終了

停電や復電時に通報する

解除呼出の方法

全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います

各入力信号が解除する度に解除呼出を行います

解除呼出を行わない

入力信号の接点仕様

入力信号1

入力信号2

入力信号3

入力信号4

入力信号5

入力信号6

入力信号7

入力信号8

チェックを入れると外部入力が入力OFFのときに入力ありと判断します

テレコン

パスワード 入力信号の確認とテレコンコマンドの為にパスワードを数字4桁で設定します

出力信号をONにする為のコマンドを数字4桁で設定します

出力1 ON 出力1 OFF

出力2 ON 出力2 OFF

出力3 ON 出力3 OFF

出力4 ON 出力4 OFF

出力信号をOFFにする為のコマンドを数字4桁で設定します

電源ON時に60秒間入力信号を無視する

通報を終了する条件

通報先が1ヶ所の場合は、設定出来ません。

詳細は37ページの「複数の通報先を終了する条件」を参照下さい。

通報を終了する条件

- 全ての通報先に通報できたら終了
- 通報先の何所か1か所に通報できたら終了

※メール送信システム(有料)をご利用される場合は、「全ての通報先に通報できたら終了」にチェックを入れて下さい。

停電や復電時に通報する

□内にチェックを付けると停電や復電時に通報するようになります。

詳細は36ページの「停電時発信」を参照下さい。

停電や復電時に通報する

解除呼出の方法

入力信号が解除されたとき（機器の故障やセンサーの信号が「なし」の状態になったとき）に通報する方法を、ここで選択します。

呼出方法についての詳細説明は34ページの「呼出の種類と通話時間」を参照下さい。

解除呼出の方法

- 全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います
- 各入力信号が解除する度に解除呼出を行います
- 解除呼出を行わない

※「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」は通報先が「非常通報メール送信システムへ通報」のみを設定してある場合に選択できます。

※1ヶ所でも音声通報かタダ電通報が設定してあると選択できません。

※「全ての入力信号が解除」の状態は、22ページの「入力信号の接点仕様」に準じます。

入力信号の接点仕様

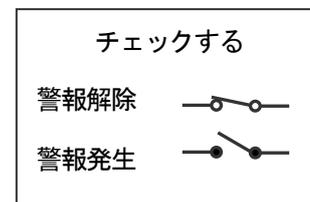
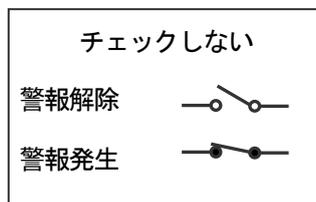
各入力信号の接点仕様を設定します。

内チェックを入れないと、a 接点仕様になります。

内チェックを入れると、b 接点仕様になります。

入力信号の接点仕様

- 入力信号1
 - 入力信号2
 - 入力信号3
 - 入力信号4
 - 入力信号5
 - 入力信号6
 - 入力信号7
 - 入力信号8
- チェックを入れると外部入力が入力OFFのときに入力ありと判断します



・「警報発生」のときに短絡する信号を出力する場合はチェックを入れません。

(a 接点/ノーマル・オープン接点/メイク接点など)

・「警報発生」のときに開放する信号を出力する場合はチェックを入れます。

(b 接点/ノーマル・クローズ接点/ブレーク接点など)

※初期値ではチェックは付いていません。(a 接点)

※本体の入力信号モニタランプは、外部信号が短絡した時に点灯します。

※b 接点 (チェックを入れた場合) の警報発生時の入力信号モニタランプは消灯状態です。警報解除時に点灯します。

テレコン

テレコンを使用するにはここにチェックを付けます。

テレコン

パスワード 入力信号の確認とテレコンコマンドの為のパスワードを数字4桁で設定します

出力信号をONにする為のコマンドを数字4桁で設定します

出力信号をOFFにする為のコマンドを数字4桁で設定します

出力1 ON	<input type="text" value="0001"/>	出力1 OFF	<input type="text" value="0005"/>
出力2 ON	<input type="text" value="0002"/>	出力2 OFF	<input type="text" value="0006"/>
出力3 ON	<input type="text" value="0003"/>	出力3 OFF	<input type="text" value="0007"/>
出力4 ON	<input type="text" value="0004"/>	出力4 OFF	<input type="text" value="0008"/>

・テレコンを使用しない場合はチェックを外してください。WL21ANに電話をかけても着信しません。

・パスワードの欄には認証に必要なパスワードを0~9の数字4桁で指定します。

・出力信号をON、OFFにする為の出力コマンドを0~9の数字4桁で指定します。全てのコマンドはそれぞれ違う4桁の数字を指定します。

※一本の電話回線で電話機とWL21ANを使用する場合は、テレコンのチェックは外して下さい。チェックを付けますと、外部からの電話をWL21ANが自動着信してしまい、電話機で受信出来ません。

※同じコマンドがあるとエラーとなります。

※使用しない出力信号でもコマンドは設定してください。

※テレコンについての詳細は39ページの「テレコン」を参照下さい。

電源ON時に60秒間入力信号を無視する

内にチェックを付けると、電源スイッチを入れたときに60秒間LP1(黄)が低速点滅します。

この間、入力信号が警報状態になっても通報しません。また、着信もしません。

※「検知センサーCM-02」を使用される場合はチェックを入れてください。

電源ON時に60秒間入力信号を無視する

送信メッセージの編集

送信メッセージの編集は3つ目のタブをクリックすると表示される下図の画面で行います。

※使用出来ない文字を入力した場合、正常に通報出来ません。

※メッセージ内容が1種類しか入力出来ない為、文字メッセージ通報はメール送信システム通報または携帯メール(SMS)通報のどちらか1つがご使用出来ます。

通報先の設定		全体の設定	送信メッセージ編集
識別コード			文字数
入力信号1	IN1		3
入力信号2	IN2		3
入力信号3	IN3		3
入力信号4	IN4		3
入力信号5	IN5		3
入力信号6	IN6		3
入力信号7	IN7		3
入力信号8	IN8		3
全解除	KAIJYO		6
停電	TEIDEN		6
復電	FUKUDEN		7

メール送信システムへ通報する場合

「識別コード」へ弊社より指定するコード3桁を登録して下さい。

半角大文字にて、全て下図の内容で入力します。

※全角や下図と異なる内容を入力しますと、正常に動作しません。また、設定内容によっては多額の通話料金が発生する恐れがありますので、ご注意ください。

識別コード	弊社から指定するコード3桁を入力します
入力信号1	IN1
入力信号2	IN2
入力信号3	IN3
入力信号4	IN4
入力信号5	IN5
入力信号6	IN6
入力信号7	IN7
入力信号8	IN8
全解除	KAIJYO
停電	TEIDEN
復電	FUKUDEN

* 「全体の設定」の「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」にチェックを付けた場合は、「警報発生」の時は「ON」が、「警報解除」の時は「OFF」がメッセージの後ろに自動的に付きます。

識別コード	弊社から指定するコード3桁
入力信号1	IN1 ON
入力信号2	IN2 ON
入力信号3	IN3 ON

* 「全体の設定」の「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」にチェックを付けていない場合は、左図の様に入力信号1~8に、INOスペース（半角）ONと入力して下さい。

* 入力信号をb接点に設定し、「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」にチェックを付けていない場合は、「IN1 OFF」と入力して下さい。

携帯メール（SMS）通報する場合

SMS メールで送信出来る文字数は、半角全角に関わらず 50 文字です。

識別コードには、場所や機器の名前を入れます。受け取ったメールの内容には、「識別コードの内容」の後に「）」が付きます。

入力信号 1～8

各入力信号が「警報発生」した時に、該当する入力信号のメッセージ内容が送信されます。

※「全体の設定」タブの「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」にチェックを付けていた場合、信号が「警報発生」になったとき「ON」が、信号が「警報解除」になったとき「OFF」がこのメッセージの後ろに自動的に付きます。

注) メール送信システムの場合

・「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」にチェックを付けない場合は、「ON」が自動的に付かない為、ここで「ON」を追加して下さい。

・入力信をb接点号に設定し、「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」にチェックを付けていない場合は、「IN1 OFF」と入力して下さい。

入力信号1 IN1 ON

全解除

「全体の設定」タブの「解除呼出の方法」で「全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います」にチェックを付けていた場合に送信されるメッセージです。

全解除 KAIJYO

停電・復電

「全体の設定」タブで「停電や復電時に通報する」にチェックを付けていた場合に送信されるメッセージです。

停電 TEIDEN

復電 FUKUDEN

文字数

メッセージを入力すると現在の文字数が表示されます。

※数字が赤く表示された場合は文字数がオーバーしている状態です。

※「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」にチェックを付けていた場合、メッセージの後ろに「ON」または「OFF」が付くため、最大文字数は通常の文字数より4文字少なくなります。

文字数
51
3

通信ポートの確認

設定内容を転送する時に使用する通信ポートを選択します。
メニューから「通信ポート設定 (0)」をクリックします。

通信ポートを自動的に検出する

「WL21AN」に接続されている通信ポートを探して転送を行います。初期状態ではチェックが付いています。

通信ポート指定

「通信ポートを自動的に検出する」のチェックを外すと「通信ポート指定」部分が選択出来るようになります。

使用したい通信ポートを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

※使用出来る通信ポートは白丸で表示され、選択できますが、使用出来ない通信ポートは薄色（グレー）で表示され、選択できません。

※COM1～COM9が全て薄色（グレー）で表示されている場合は、28ページを参照下さい。

※パソコンのUSBマークがあるコネクタが複数ある場合、コネクタ毎にUSBドライバのインストールが必要となります。また、コネクタごとにCOM番号も異なります。

本体とパソコンの接続

付属の「USBケーブル」でWL21ANとパソコンを接続します。

WL21AN側は「設定・PC」に、パソコン側はUSBのマークがあるコネクタに接続します。

※転送時には、ACアダプタも必要です。

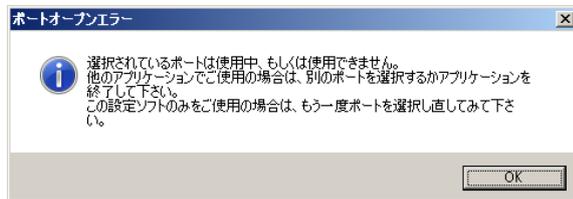
※パソコンのUSBマークがあるコネクタが複数ある場合、コネクタ毎にUSBドライバのインストールが必要となります。

設定内容の転送

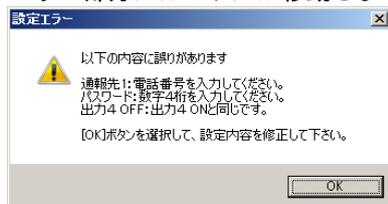
設定画面の入力が完了したら、WL21AN 本体に設定画面で入力した設定内容を転送します。

WL21AN 本体とパソコンを USB ケーブルで接続します。次に、メニューから「設定データ転送 (R)」を選択して下さい。

※本体とパソコンが、USB ケーブルで接続されていないと下図の「ポートオープンエラー」が表示されます。

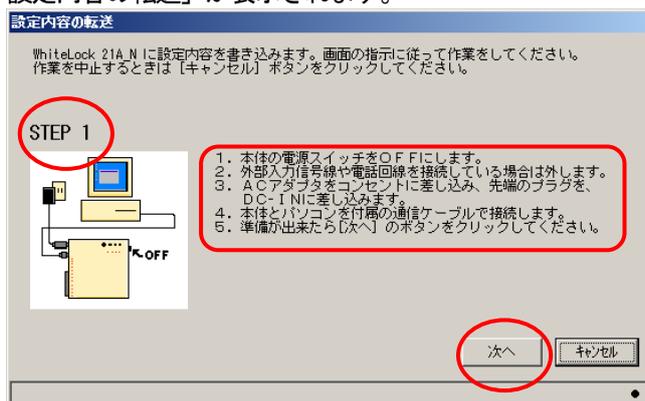


設定画面に入力エラーがある場合は、下図のようなメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると、画面上のエラー部分にカーソルが移動します。



エラー部分を修正した後、再度「設定データ転送 (R)」を選択して下さい

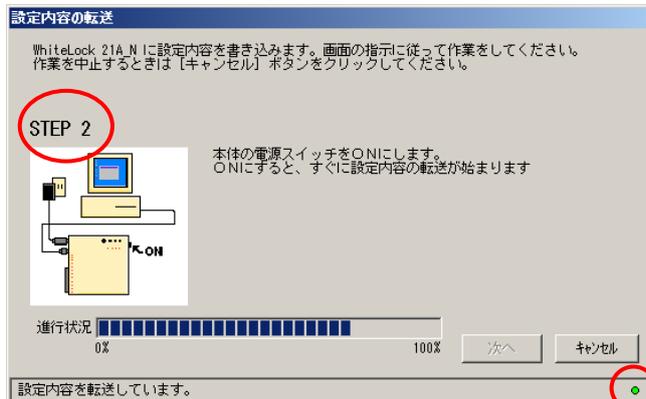
「設定内容の転送」が表示されます。



「STEP1」画面に表示される説明に従って WL21AN 本体に AC アダプタと USB ケーブルを接続します。

本体の電源スイッチを OFF にしてから「次へ」のボタンをクリックします。

※必ず AC アダプタから電源供給をしながら転送して下さい。



「STEP2」画面で右下の黒丸が緑に変わった事を確認します。

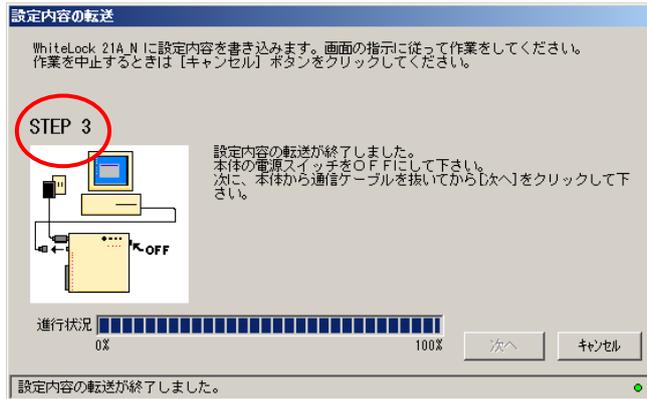
※ここで緑に変わらない場合は COM ポートが合っていない為、転送が出来ません。28ページを参照して下さい。

本体の電源を ON にすると、自動的にデータの転送が開始され進行状況が表示されます。

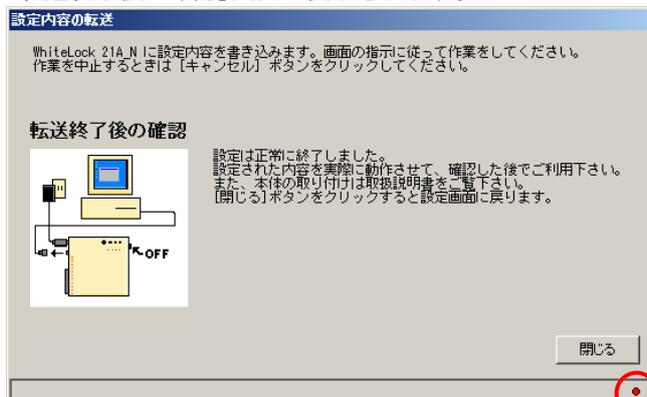
※電源スイッチを ON にしても進行状況が表示されない場合は、転送が出来ない状態です。28ページを参照下さい。

※進行状況が 100%になるまでは、電源スイッチを切ったり、USB ケーブルを抜いたりしないで下さい。

転送はすぐに終わり「STEP3」画面になります。電源スイッチを OFF にします。USB 通信ケーブルのコネクタを抜いてから「次へ」のボタンをクリックします。

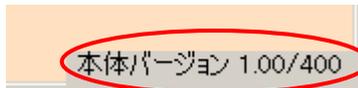


「転送終了後の確認」画面が表示されます。



USB 通信ケーブルを本体から外すと緑から赤へ変わります。「閉じる」をクリックすると転送作業が終了し、設定画面に戻ります。

本体バージョンの確認



設定内容を転送したときや本体から設定内容を読み込んだときには、設定画面（右上辺り）にWL21AN 本体のバージョンが表示されます。

本体から設定内容を読み込む

本体に現在保存されている設定を読み込みます。本体が、どのような設定になっているか確認することができます。「ファイル(F)」メニューの「本体から設定を読み込む(R)…」を選択してください。



「設定内容を読み込む」画面が表示されます。

後は、画面の指示に従って操作をして下さい。手順は「設定内容の転送」と同じです。転送終了後、本体から読み込んだ設定が画面に表示されます。

設定内容の転送・読み込みが出来ない場合

①USB ドライバがインストールされているか確認して下さい。③でインストール済みであるかが確認出来ます。

※WL21AN とパソコンを USB 通信ケーブルで繋いだ状態で始めて下さい。

②通信ポートを確認し、設定して下さい。

設定画面の「通信ポート設定 (0)」をクリックします。

「通信ポートを自動的に検出する」のチェックを外し、「通信ポート指定」にある空の COM にチェックを入れて下さい。

(使用可能な COM のみチェックが入る様になっています。)

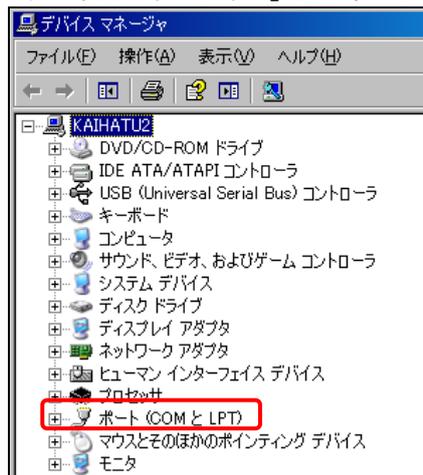


③COM ポート番号を確認し、設定して下さい。

[スタート]メニューの [コントロールパネル]より [システム] を開きます。

次に[コントロールパネルホーム]の中の[デバイスマネージャー]をクリックします。

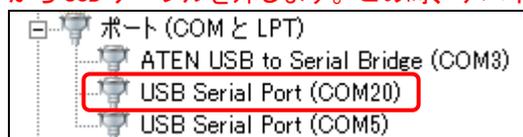
「デバイスマネージャー」の「ポート (COM と LPT)」の+をクリックします。



「ポート (COM と LPT)」の中に「USB Serial Port (COM0)」が表示されれば、USB ドライバがインストール済みです。

※WL21AN とパソコンを USB 通信ケーブルで繋がっている状態でないと表示されません。

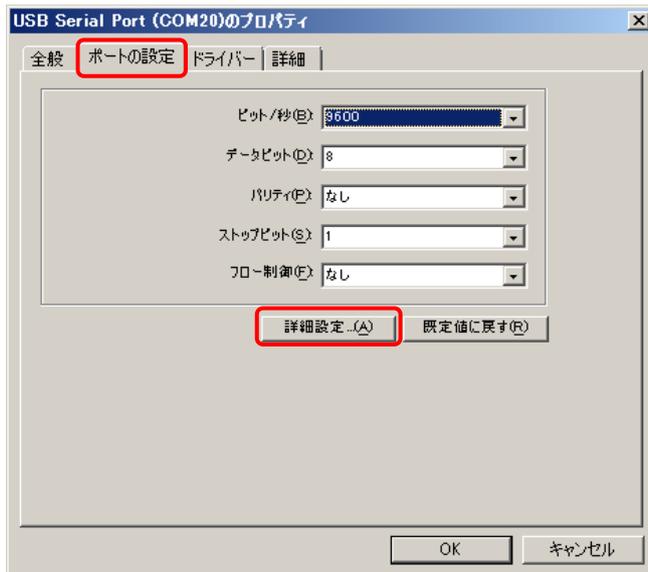
※下記のように「USB Serial Port (COM0)」が複数ある場合は、デバイスマネージャーを表示させた状態で、WL21NA から USB ケーブルを外します。この時、デバイスマネージャーから消えた方が、WL21NA で使用しているポートです。



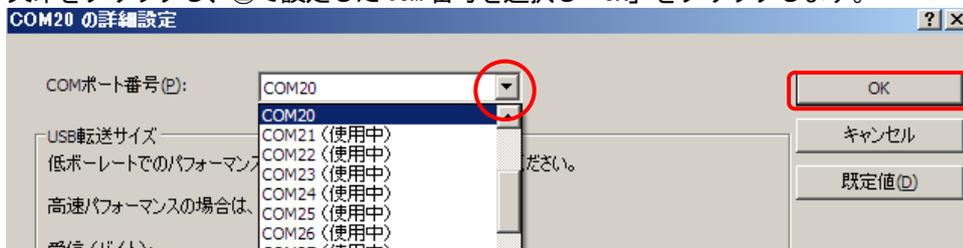
④COM 番号が1~9 以外の場合 (又は、②で設定した番号と違う場合) は、「USB Serial Port (COM0)」を右クリックし「プロパティ」で変更します。



「USB Serial Port (COM0)のプロパティ」の「ポートの設定」タブをクリックし、「詳細設定... (A)」を開きます。



矢印をクリックし、②で設定した COM 番号を選択し「OK」をクリックします。



「USB Serial Port」のプロパティも「OK」をクリックします。

「デバイスマネージャ」の「USB Serial Port (COM0)」が変更された事を確認しても閉じます。



①から④までの確認と設定をした後で「設定内容の転送」又は、「本体から設定内容を読み込む」を行って下さい。

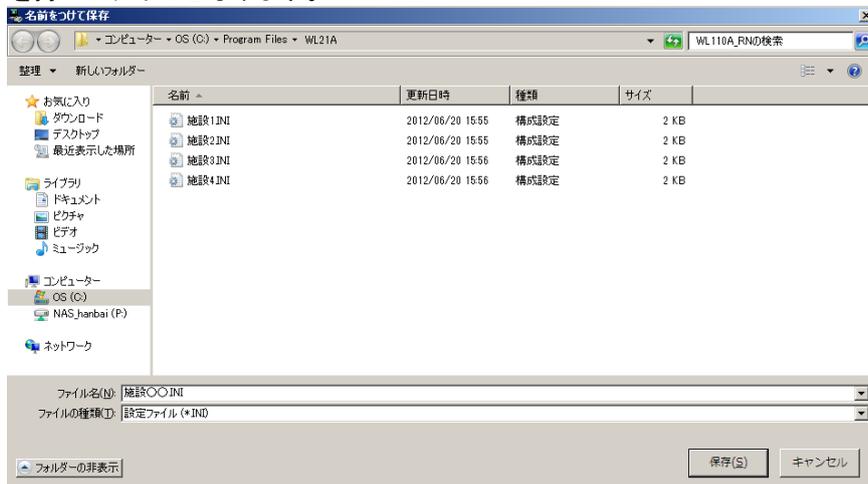
※転送が出来ない場合は、一度パソコンを再起動させてから再度転送を行って下さい。

設定内容の保存と読み込み

設定内容をファイルに保存したり、ファイルから読み込んだりするにはメニューの「ファイル(F)」から行います。



設定された内容をファイルに保存する時は、[ファイル(F)]メニューの[名前をつけて保存(A)]を選択します。保存先のフォルダ、ファイル名を指定して[保存(S)]ボタンをクリックします。保存する設定ファイルは、INIの拡張子を持つファイルとなります。



新規作成

全ての設定項目を初期状態にします。通報先は全て「(設定しない)」で送信メッセージも全て未設定にします。現在の設定が保存してなければ保存するか問い合わせます。

設定ファイルを開く

保存した設定ファイルを開く場合は、[ファイル(F)]メニューの[設定ファイルを開く(O)]を選択し、開きたい設定ファイルを選択して[開く(O)]ボタンをクリックします。

現在の設定が保存してなければ保存するか問い合わせます。

上書き保存

既に関われているファイルに上書き保存する場合は、[ファイル(F)]メニューの[上書き保存(S)]を選択します。

名前をつけて保存

設定された内容をファイルに保存する時は、[ファイル(F)]メニューの[名前をつけて保存(A)]を選択します。

本体から設定を読み込む

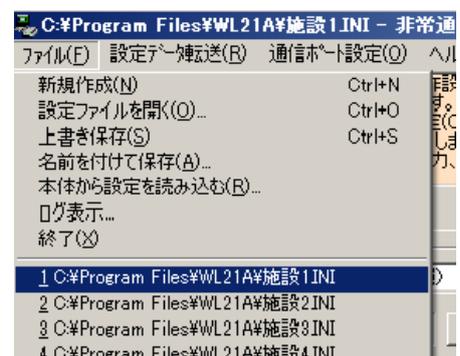
27ページを参照してください。

終了

設定ソフトを終了します。

以前に編集したファイル

過去に開いたファイルの履歴を10個まで表示します。表示されているファイルを選択すると、そのファイルを開きます。現在の設定が保存してなければ保存するか問い合わせます。



録音再生

録音再生の概要

音声録音は16の録音チャンネルが用意されています。各チャンネルを録音し、通報時はこれらを組み合わせて再生されます。各チャンネルの録音時間は最大10秒となります。

※音声通報を使用する場合は、チャンネル0~9・A~Bを録音してください。

※テレコンを使用する場合は、チャンネルC~Fを録音してください。

出荷時の録音内容

出荷時は下記内容が予め録音がしてあります。

録音チャンネル0「こちらは非常通報装置ホワイトロックです」

録音チャンネル1「入力1」

録音チャンネル2「入力2」

録音チャンネル3「入力3」

録音チャンネル4「入力4」

録音チャンネル5「入力5」

録音チャンネル6「入力6」

録音チャンネル7「入力7」

録音チャンネル8「入力8」

録音チャンネル9「全解除」

録音チャンネルA「停電」

録音チャンネルB「復電」

録音チャンネルC「パスワードを入力後、状態確認はシャープをテレコンの時はコメ、シャープを押してください」

録音チャンネルD「一致しません。もう一度」

録音チャンネルE「コマンドを入力し、最後にシャープを押してください」

録音チャンネルF「受け付けました」

録音内容の例

録音チャンネル0 設置した場所や機械装置などの名前が解るような内容を録音します。

例：「こちらは××です」「◎◎からのお知らせです」

録音チャンネル1~8 各入力信号1~8に対応した通報内容を録音します。

例：「〇〇の警報が発生しました」「〇〇の故障が発生しました」

録音チャンネル9 全入力が解除したときに通報する内容を録音します。

例：「全ての警報は解除しました」「全ての故障は解除しました」

録音チャンネルA 停電が発生した際に通報する内容を録音します。

例：「停電が発生しました」「外部電源装置が故障しました」

録音チャンネルB 復電したときに通報する内容を録音します。

例：「復電しました」「外部電源装置が復帰しました」

録音チャンネルC パスワード入力を促す内容を録音します。

例：「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください」

録音チャンネルD パスワードが一致しなかった時の内容を録音します。このメッセージの後にチャンネルCのメッセージが流れます。

例：「一致しません。もう一度」

録音チャンネルE コマンド入力を促す内容を録音します。

例：「コマンドを入力し、最後に#を押してください」

録音チャンネルF コマンドを受け付けた内容を録音します。

例：「受け付けました」

通報時の再生例（通報先で再生される内容）

※録音チャンネル0と該当する警報信号の録音チャンネルが繰り返し流れます。

入力信号が「警報発生」の状態になったとき

「こちらは××です。〇〇の警報が発生しました。」
「◎◎からのお知らせです。〇〇の故障が発生しました。」

全入力信号が「解除」になったとき

「こちらは××です。全ての警報は解除しました。」
「◎◎からのお知らせです。全ての故障は解除しました。」

停電が発生したとき

「こちらは××です。停電が発生しました。」
「◎◎からのお知らせです。外部電源装置が故障しました。」

復電したとき

「こちらは××です。復電しました。」
「◎◎からのお知らせです。外部電源装置が復帰しました。」

録音再生の操作方法

録音再生は、本体に内蔵されたマイクとスピーカーで行います。

※録音再生を行う時は、必ずACアダプタを本体に接続し、ACアダプタ以外は接続しないで下さい。

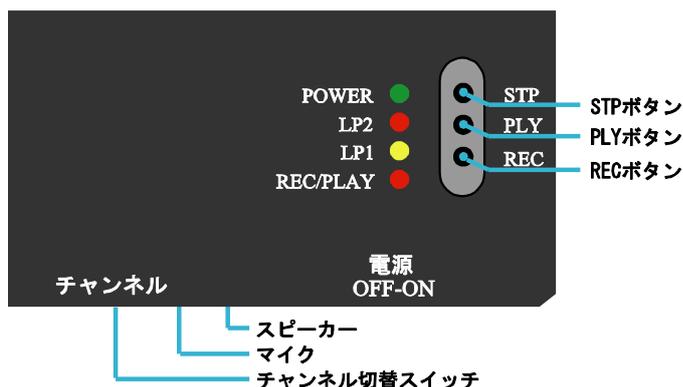
※録音は、通報先を設定する前に行ってください。通報先が設定してあると、電源をONした際すぐに通報の動作する場合があります。必ず全ての通報先を「（設定しない）」設定にしてから録音を行ってください。録音が全て終わった後、改めて通報先の設定を行ってください。

※録音は静かな場所で行ってください。マイクの感度が高いため、周囲の音を録音することがあります。また、大きな声で録音すると、再生音がひずむ場合がありますが、通報された電話機で聞くときはひずむことはありません。

※音量調整ボリュームはありませんので、録音する音量で調整してください。各チャンネルの説明を読んで適当な内容を録音再生して確認してください。

1. 電源スイッチをONにします。
2. 録音するチャンネルを「チャンネル切替スイッチ」で選択します。「チャンネル切替スイッチ」は小さなマイナスドライバーで回して下さい。矢印の指している番号が選択されたチャンネルになります。
3. 録音 (REC) ボタンと停止 (STP) ボタンを同時に押します。録音状態になると、REC/PLAY (赤) と LP2 (赤) が点灯します。
4. マイクに録音する内容をお話してください。REC/PLAY (赤) と LP2 (赤) は、点灯してから 10 秒が経過するとどちらも消灯して録音が終了します。
※任意の位置まで録音を停止させたい時は、発声後に停止 (STP) ボタンを押します。
5. 再生 (PLY) ボタンを押すと REC/PLAY (赤) が点灯し、スピーカーから録音内容が再生されます。途中で録音を停止させた場合はその位置まで再生され、REC/PLAY (赤) は消灯します。
※録音後は必ず再生して内容を確認して下さい。再生終了時に REC/PLAY (赤) が消灯する事を確認して下さい。REC/PLAY (赤) が消灯しないチャンネルがあった場合は、停止 (STP) ボタンを押して一旦消灯させた後、そのチャンネルのみ再度録音を行ってください。
6. 録音が終わりましたら、電源スイッチをOFFにして下さい。
※録音再生終了後は、必ず「チャンネル切り替えスイッチ」を「0」にして下さい。

慣れてくると、無音の状態が少なくなるように録音できるようになります。



注意事項

- ・音声通報を携帯電話で受けた場合、電波の状況によっては音質が悪いことがあります。
- ・電源がONの時は、再生録音が可能な状態です。通常ご使用頂く際には、各ボタンを押さないようご注意ください。

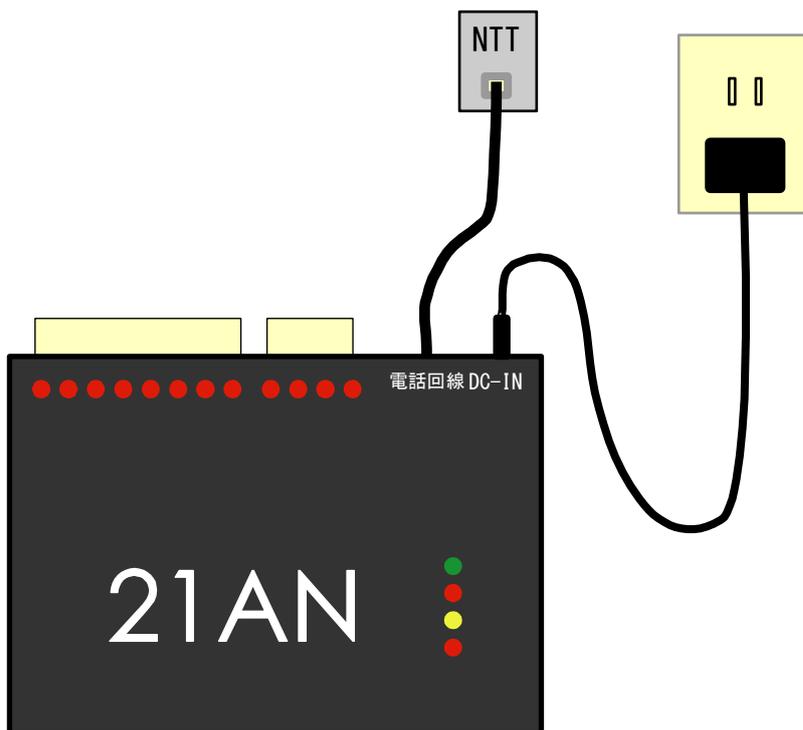
動作確認

WL21AN の設定が終了しましたら、設定した内容通りに動作する事を必ず確認して下さい。

1. 電源スイッチが OFF になっている事を確認します。
 2. AC アダプタの電源プラグを WL21AN の「DC-IN」に接続し、AC アダプタをコンセントに差し込みます。接続方法は「AC アダプタの接続」44ページの説明をご覧ください。
 3. 付属のモジュラーケーブルで電話回線と WL21AN の「電話回線」を接続します。接続はカチッと音がして完全に差し込まれていることを確認してください。
 4. 「チャンネル」が 0 になっていることを確認します。
 5. 電源スイッチを ON にします。
 6. 各入力信号 (1~8) の端子と、共通端子 (COM) をリード線等で結線させ通報させます。
- 音声通報・・・通報先に電話が掛かり、該当する音声メッセージが流れるか確認します。
 ○文字メール通報・・・全ての通報先にメールが届き、該当するメッセージ内容か確認します。
 ○タダ電通報・・・通報先で呼出音が数回鳴った後に切れる事を確認します。

※電話を受け取らなかった場合の動作確認も行して下さい。特に、通報先が携帯電話機で留守番電話サービスなどが出た場合の動作を確認して下さい。

※下図のように、電話回線と AC アダプタを接続して動作確認を行ってください。



呼出の種類と通話時間

通報の種類

通報には「音声通報」「タダ電通報」「文字メッセージ通報」（メール送信システムまたは携帯 SMS メール）の 3 種類があります。

音声通報

音声通報は、一般電話、携帯電話、PHS 等へお客様がご自分で録音した音声で通報します。

注) 通報先が留守番電話に設定している場合、録音時間が 120 秒以上になっていますと、通報が正常に行えなかったと判断します。設定内容によっては多額の通信料が発生しますので、ご注意ください。

注) 通報先が携帯電話機で、一定時間内に電話に出ないと「おかけになった電話を呼び出しましたがお出になりません。」とのアナウンスが流れる場合は、正常終了しますのでご注意ください。

タダ電通報

タダ電通報は、一般電話、携帯電話、PHS の呼出音を鳴らして電話を切ります。呼出音を鳴らすだけなので通話料金はかかりません。使い方としては、通報先が着信履歴を確認後、テレコンを使って状態を確認します。通報先が電話に出た場合でも「WL21AN」はすぐ電話を切ります。この場合は通話料金がかかってしまいます。

注) 電話機によっては、呼出音を鳴らさずに電話を取る場合があります。たとえば、留守番電話サービスやドライブモードなどです。その場合も料金が掛ってしまいますのでご注意ください。

メール送信システムによる E メール通報

メール送信システム(有料)を利用した、E メール通報です。システムを利用するには、ユーザー登録が必要です。

注) 設定内容が間違っている場合、通報動作を繰り返し多額の通信料が発生する恐れがありますので、ご注意ください。必ず動作テストを行い、全ての通報先でメールが受信する事を確認して下さい。

携帯メール(SMS)通報

携帯メール(SMS)通報は、SMS（ショートメッセージサービス）メールで携帯電話へ通報します。

※通報先はドコモ回線を契約された SMS 受信が可能な携帯端末に限ります。

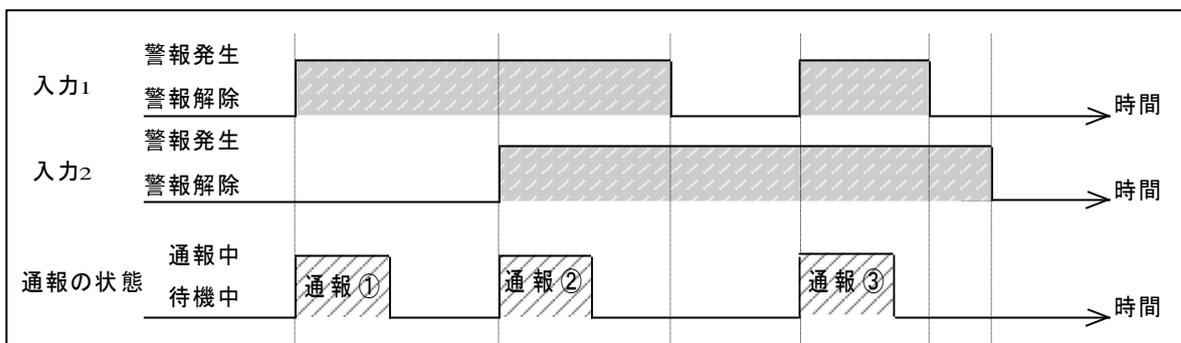
1 回の通報にかかる通話時間

- ・「音声通報」の場合は、受信側が受話器を上げている時間によって異なります。但し、通報 1 回当たり最大 120 秒を過ぎると WL21AN が自動的に電話を切ります。この場合、通報が正常に行えなかったと判断し、リダイヤルします。
注) 通報先が留守番電話に設定している場合、録音時間が 120 秒以上になっていますと、通報が正常に行えなかったと判断します。設定内容によっては多額の通信料が発生しますので、ご注意ください。
- ・「タダ電通報」の場合は、呼出音を数回鳴らして切りますので、10 秒程度です。
注) 呼出音を鳴らして切る為、料金は掛かりません。呼出音が鳴らない場合（留守番電話サービスやドライブモードなど）、料金が掛ってしまいますのでご注意ください。
- ・「メール送信システム」の場合は、弊社サーバーまでの通話時間になります。1 つの通報についての通話時間は、28 秒以下です。
注) 設定内容が間違っている場合、通報動作を繰り返し多額の通信料が発生する恐れがありますので、ご注意ください。
- ・「携帯メール(SMS)で通報」の場合は、送信するメッセージ文字数により通話時間が変わります。10 文字の全角文字メッセージを送信する場合、通報開始より 40 秒程度です。
注) 通報先はドコモ回線を契約された SMS 受信が可能な携帯端末に限ります。

標準設定の時

入力信号が「警報発生」の状態になると通報を行います。

※メール送信システム（または携帯メールSMS 通報）の場合、「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います」にチェックが入っていないと、メッセージの後へ「ON」「OFF」が付加されません。



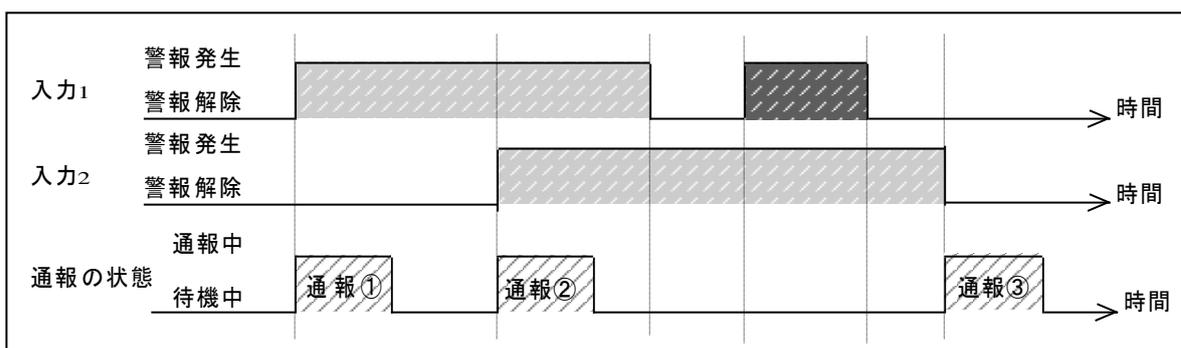
1. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報①）
2. 入力信号2「警報発生」… 通報する（通報②）
3. 入力信号1「警報解除」… 通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
4. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報③）
5. 入力信号1「警報解除」… 通報しない（個別解除呼出の設定がしていないとき）
6. 入力信号2「警報解除」… 通報しない（全解除呼出の設定がしていないとき）

全解除呼出設定

「解除呼出の方法」で「全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います」にチェックを入れた場合、全ての入力信号が「警報解除」の状態になると「全解除通報」を行います。

注）通報開始より「全解除通報」までの間、既に通報済みの入力信号の「警報発生」は通報しません。全ての入力信号が「警報解除」になった後に「警報発生」になると通報します。

※この機能は、「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います」を選択している場合は設定できません。



1. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報①）
2. 入力信号2「警報発生」… 通報する（通報②）
3. 入力信号1「警報解除」… 通報しない
4. 入力信号1「警報発生」… 通報しない（通報を行ってから「全解除通報」していないため）
5. 入力信号1「警報解除」… 通報しない
6. 入力信号2「警報解除」… 全解除通報する（通報③）

個別解除呼出

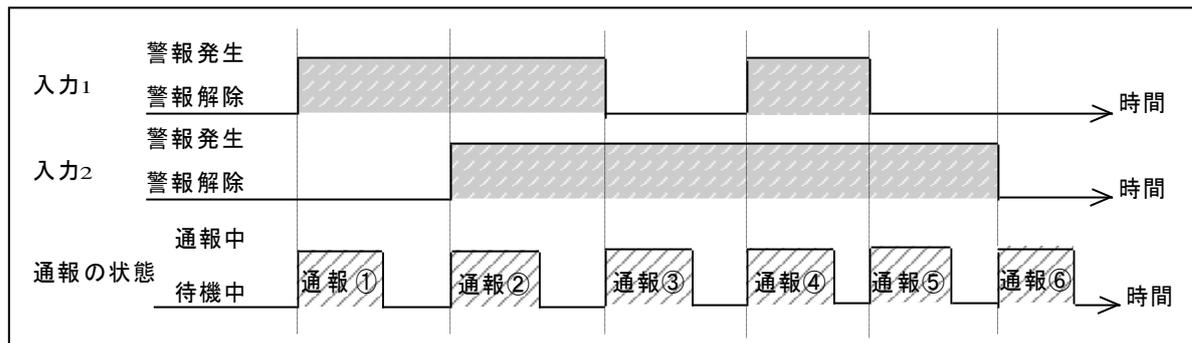
「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います」にチェックを入れた場合、各入力信号が「警報解除」の状態になると「個別解除呼出」を行います。

※メール送信システム（または携帯メールSMS 通報）の場合、メッセージの後へ「ON」「OFF」が自動的に付加されます。

※この機能は、「解除呼出の方法」で「全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います」を選択している場合は設定できません。

※「メール送信システムへ通報」のみ設定した場合のみ選択できます。

注) この設定をすることで、センサーなどの信号出力が誤報検知を出したとき、すぐに復旧すれば解除呼出によって誤報の確認が出来ることもあります。個別解除呼出に設定すると、入力変化の度に通報しますから通報頻度が多い場合は通話料が多くかかります。入力信号が頻繁に変わるところで設定する場合は注意が必要です。



1. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報①)
2. 入力信号 2 「警報発生」 … 通報する (通報②)
3. 入力信号 1 「警報解除」 … 個別解除通報する (通報③)
4. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報④)
5. 入力信号 1 「警報解除」 … 個別解除通報する (通報⑤)
6. 入力信号 2 「警報解除」 … 個別解除通報する (通報⑥)

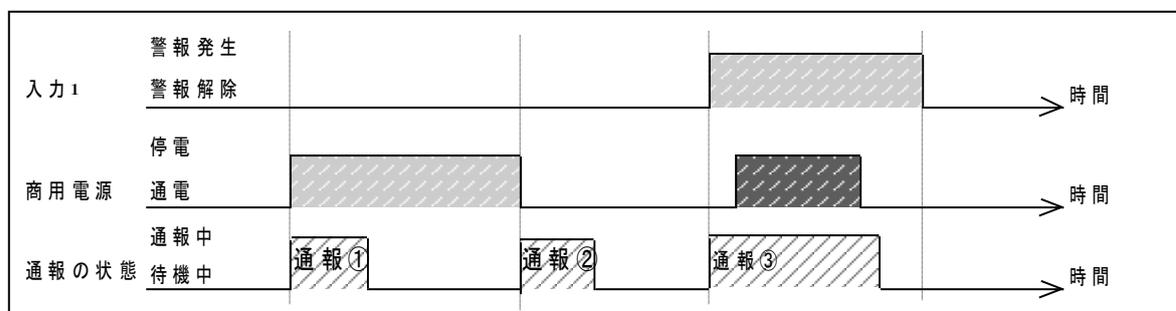
停電時発信

「停電や復電時に通報する」にチェックを入れた場合、商用電源からの電源供給が無くなった時に「停電通報」を、商用電源が復電した時に「復電通報」を行います。

※メール送信システムの場合、停電時のメッセージ、復電時のメッセージとなります。

※停電通報は「全解除呼出」や「個別解除呼出」とは関係なく、別の呼出として通報します。

注) 停電通報後、内蔵電池の残量が一定電圧以下になると、本体は停止します。復電時に本体は再起動しますが、この時の復電通報は行いません。内蔵電池が一定電圧以下になる前に復電した場合は復電通報を行います。



1. 商用電源 「停電発生」 … 停電通報する (通報①)
2. 商用電源 「停電解除」 … 復電通報する (通報②)
3. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報③)
4. 商用電源 「停電発生」 … 停電通報しない (入力信号 1 の通報中のため)
5. 商用電源 「停電解除」 … 復電通報しない (停電通報を行っていないため)

通報終了の条件

1つの通報先を終了する条件

それぞれの通報先で通報が終了したと判定される条件

- ・ **音声通報**の場合、通報先が電話に出てから 120 秒以内に電話を切ると、その通報先への通報は終了となります。
(WL21AN は **30 秒以内**に通報先が電話に出ないとき、一旦電話を切ってかけ直す動作をします)
※通報先が話中の場合、リダイヤルします。
※通報先が携帯電話の場合、圏外や電源 OFF、ドライブモードに設定されている時もリダイヤルします。
※通報先が留守番電話など自動的に受話器を上げるものは、120 秒以内に通話が終了した時点で通報出来た事になります。
※通報先が携帯電話機で、一定時間内に電話に出ないと「おかけになった電話を呼び出しましたがお出になりません。」とのアナウンスが流れる場合は、正常終了しますのでご注意ください。
※PBX（内線交換機）で電話を切った後の話中音の周波数が仕様（*）と異なる場合は、正常に通報終了しません。この場合、#を押すことで通報終了させることができます。（*PBX 周波数の仕様は11ページを参照下さい）
- ・ **タダ電通報**の場合、WL21AN が呼出音を確認できたら、その通報先への通報は終了となります。通報先の呼出音が鳴る回数は不定です。
※通報先が話中の場合、リダイヤルします。
※通報先が携帯電話の場合、圏外や電源 OFF、ドライブモードに設定されている時もリダイヤルします。
- ・ **メール送信システム**の場合、サーバーがメッセージ内容を受け取ると終了となります。
- ・ **携帯メール（SMS）通報**の場合、ショートメッセージセンターが電話に出て、文字メッセージを預かった後、電話が切れると終了となります。

複数の通報先を終了する条件

WL21AN は、通報を開始してから以下の条件により通報を終了します。ご利用になる環境に合わせてお選び下さい。

（設定は、設定ソフトウェアで行います）

※通報する順番は通報先 1～6 の順に行います。

※通報先が話し中や圏外などで電話が繋がらない場合、または呼び出して 30 秒以内に通報先が電話に出ない場合には、一旦電話を切って次の通報先へ通報します。

「全ての通報先に通報できたら終了」

設定した全ての通報先への通報が終了するまで、通報先 1～6 へ順に通報を繰り返していきます。

リダイヤル中は、通報が正常に終了した通報先への通報は行いません。

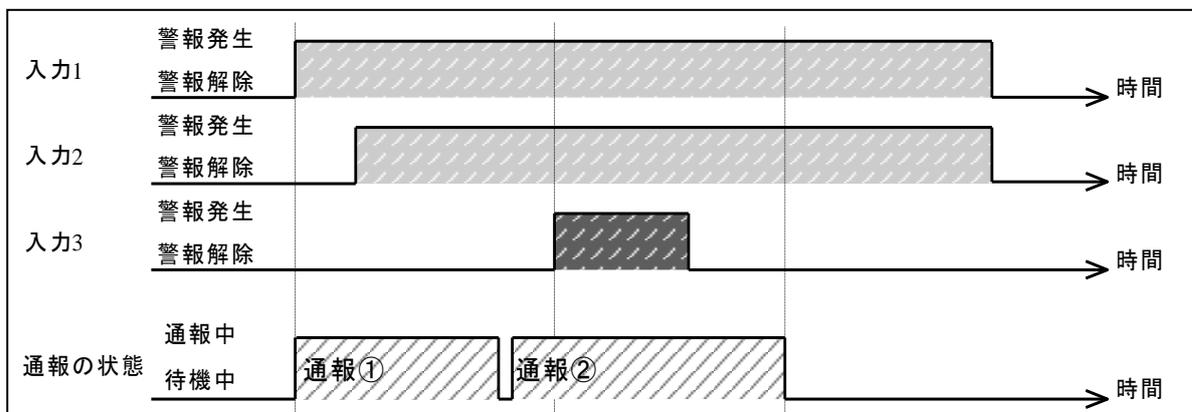
この間に新たに発生した警報に対しての通報は行いませんのでご注意ください（38ページに詳細あり）。

「通報先の何所か 1 カ所に通報できたら終了」

設定した通報先の何所か 1 カ所でも通報できると通報を終了します。

通報を終了するまでに発生した警報

通報中に新たに発生した警報は、現在の通報が設定通りに終了しない限り通報を開始しません。
 通報中に発生した警報は記録していません。通報終了時に入力信号の状態を確認します。



1. 入力信号1「警報発生」… 通報する（通報①）
2. 入力信号2「警報発生」… 通報①が終了後に通報する（通報②）
3. 入力信号3「警報発生」… 通報しない（通報②が通報中に発生し解除したため）

テレコン

入力信号の状態を確認するとき

WL21AN を接続している一般電話回線に電話をかけて、現在の入力信号の状態を音声メッセージで確認することができます。（設定ソフトで「テレコン」にチェックを入れた場合）

※メッセージ再生中には、プッシュボタン（パスワード等入力）を受け付けません。メッセージが終わった無音時間よりプッシュボタンの入力を始めてください。

入力信号の状態を音声で聞く

（※設定ソフトでパスワードを「1234」に設定した場合）

- ①「WL21AN」に電話をかけます。
- ②「WL21AN」が電話を取り、パスワード入力を促す録音した音声が繰り返し聞こえます。
音声チャンネルC 「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください」
- ③パスワード4桁「1234」をダイヤルし「#」を押します。
パスワードが合っていれば入力信号の状態が音声で繰り返し聞こえます。
例1：入力1が「警報発生」の状態
音声チャンネル0「こちらは××です」+ 音声チャンネル1「入力1の警報発生です」
この2つの音声が繰り返し聞こえます。
例2：停電状態（設定ソフトで停電通報にチェックを入れている場合）
音声チャンネル0「こちらは××です」+ 音声チャンネルA「停電が発生しました」
この2つの音声が繰り返し聞こえます。
例3：入力が全て「警報解除」の状態
音声チャンネル0「こちらは××です」+ 音声チャンネル9「全ての警報は解除しました」
この2つの音声が繰り返し聞こえます。
- ④「#」を押すと②のパスワード入力に戻ります。
- ⑤「WL21AN」からは電話を切りませんので、内容を聞いたら電話を切ってください。音声再生される入力信号の状態はパスワードを受け付けた瞬間の状態です。④の状態でもメッセージを聞き続け、その間に入力信号が変わってもメッセージは変わりません。適当なときに「#」を押してパスワード入力からやり直してください。パスワードを受け付けた瞬間の状態が新たに取得され、最新の状態が確認できます。

パスワードを間違えた場合

（※設定ソフトでパスワードを「1234」に設定した場合）

- ①「WL21AN」に電話をかけます。
- ②「WL21AN」が電話を取り、パスワード入力を促す録音した音声が繰り返し聞こえます。
音声チャンネルC 「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください」
- ③間違ったパスワード4桁「9999」をダイヤルし「#」を押すと、パスワードが間違っていたので入力を促す音声が繰り返し聞こえます。
音声チャンネルD「一致しません。もう一度」+ 音声チャンネルC 「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください」
この2つの音声が繰り返し聞こえます。
- ④再度、違ったパスワード4桁「7777」をダイヤルし「#」を押すと、パスワードが違ったので入力を促す音声が繰り返し聞こえます。（③と同じ）
※パスワードを3回間違えると「WL21AN」は電話を切ります。

出力信号を ON/OFF するとき

WL21AN を接続している一般電話回線に電話をかけて、4 点ある出力信号をそれぞれ ON、OFF する操作ができます。
 ※「入力信号の状態を確認するとき」と違う点は、パスワードを入力した後で「*#」を入力することです。

出力信号 1 を ON

(※パスワードを「1234」、出力信号 1 の ON コマンドを「0001」に設定していた場合)

- ①「WL21AN」に電話をかけます。
- ②「WL21AN」が電話をとり、パスワード入力を促す録音した音声が繰り返し聞こえます。
音声チャンネル C 「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください」
- ③パスワード 4 桁「1234」をダイヤルし「*#」を押すと、コマンド入力を促す録音した音声が繰り返し聞こえます。
音声チャンネル E 「コマンドを入力し最後に#を押してください」
- ④コマンド 4 桁「0001」をダイヤルし「#」を押すと、対応する出力信号 1 ランプが点灯し出力 ON になり、コマンドを受け付けた音声が繰り返し聞こえます。続けて出力信号を操作しない場合は、電話を切ってください。
音声チャンネル F 「受け付けました」
- ⑤「#」を押すと②のパスワード入力に戻りますので、続けて出力信号を操作出来ます。

出力信号 1 を OFF

(※パスワードを「1234」、出力信号 1 の OFF コマンドを「0005」に設定していた場合)

- ①「WL21AN」に電話をかけます。
- ②「WL21AN」が電話をとり、パスワード入力を促す録音した音声が繰り返し聞こえます。
音声チャンネル C 「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください」
- ③パスワード 4 桁「1234」をダイヤルし「*#」を押すと、コマンド入力を促す録音した音声が繰り返し聞こえます。
音声チャンネル E 「コマンドを入力し最後に#を押してください」
- ④コマンド 4 桁「0005」をダイヤルし「#」を押すと、対応する出力信号 1 ランプが消灯し出力 OFF になり、コマンドを受け付けた音声が繰り返し聞こえます。続けて出力信号を操作しない場合は、電話を切ってください。
音声チャンネル F 「受け付けました」
- ⑤「#」を押すと②のパスワード入力に戻りますので、続けて出力信号を操作出来ます。

パスワードを間違えた場合

(※パスワードを「1234」、出力信号 1 の ON コマンドを「0001」に設定していた場合)

- ①「WL21AN」に電話をかけます。
- ②「WL21AN」が電話をとり、パスワード入力を促す録音した音声が繰り返し聞こえます。
音声チャンネル C 「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください」
- ③間違ったパスワード 4 桁「9999」をダイヤルし「*#」を押すと、パスワードが間違っていたので再入力を促す音声が繰り返し聞こえます。
音声チャンネル D 「一致しません。もう一度」+音声チャンネル C 「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください」
この 2 つの音声が繰り返し聞こえます。
- ④再度、違ったパスワード 4 桁「7777」をダイヤルし「*#」を押すと、パスワードが違っていたので再入力を促す音声が繰り返し聞こえます。(③と同じ)
※パスワードを 3 回間違えると「WL21AN」は電話を切ります。

コマンドを間違えた場合

(※パスワードを「1234」、出力信号1のONコマンドを「0001」に設定していた場合)

- ①「WL21AN」に電話をかけます。
- ②「WL21AN」が電話をとり、パスワード入力を促す録音した音声が続り返し聞こえます。
音声チャンネルC「パスワードを入力後、状態確認は#をテレコンの時は*#を押してください」
- ③パスワード4桁「1234」をダイヤルし「*#」を押すと、コマンド入力を促す録音した音声が続り返し聞こえます。
音声チャンネルE「コマンドを入力し最後に#を押してください」
- ④間違ったコマンド4桁「9999」をダイヤルし「#」を押すと、コマンドが間違っていたので再入力を促す音声が繰り返し聞こえます。
音声チャンネルD「一致しません。もう一度」+ 音声チャンネルE「コマンドを入力し最後に#を押してください」
この2つの音声が繰り返し聞こえます。
- ⑤コマンドが合うまで④のコマンド入力に戻ります。
※パスワードの時と違いコマンドを何回間違えても「WL21AN」は電話を切りません。

注意事項

- 「WL21AN」へ一般電話、携帯電話機からのテレコンが可能です。
※トーン信号が出ない携帯電話機からのテレコンは出来ません。
- 「WL21AN」が通報中の間はテレコンの使用はできません。通報箇所が6ヶ所全てに行うよう設定されていれば全ての通報が終了するまで待ってください。
- 「WL21AN」に電話をかけ、「WL21AN」が電話を取っても音声が聞こえない場合があります。そのときは「WL21AN」が通報をしようとしていた可能性があります。一度電話を切ってしばらくしてからかけ直してください。
- テレコン中の入力信号の変化（警報が発生して解除した場合。または、警報が解除して発生した場合）は、テレコン終了後に通報はしません。
- テレコン操作の為に「WL21AN」へ電話をかけた時、「WL21AN」から電話を切る場合があります。
※パスワードの要求から120秒以内にパスワードの入力しない場合。
※パスワードを1桁のみ入力してから120秒以内に何も入力しない場合。（コマンドも含む）

設置方法

設置場所を決める

WL21NA を設置する前に、本書の仕様を確認の上、設置場所を決めて下さい。壁や天井などに取り付ける場合は、付属の壁掛けブラケットをご使用下さい。(43ページを参照下さい) また、本体と接続されるコード等が余裕をもって設置出来るような空間を確保して下さい。

接続工事

本体側の電話回線

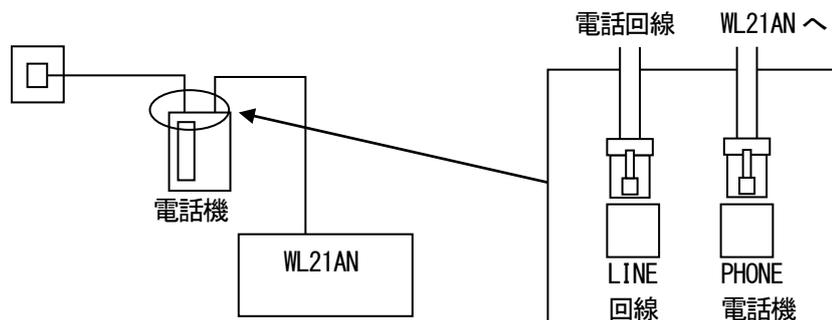
NTT 仕様のアナログ回線 (2 線式のプッシュ回線及びダイヤル回線)。ISDN 回線をご利用の場合は、TA(ターミナルアダプタ)のアナログポートに接続します。

※モジュラーコードを 10m 以上でご使用するのはお止め下さい。モジュラーコードの場合、抵抗値が高くなる為に正常動作しない恐れがあります。10m 以上の場合は、必ず配線用コード 0.4mm をご使用下さい。

他の電話機や FAX などの回線と併用するとき

本製品を既設の電話機やモデムの回線と併用するときは、終端に接続されるか、モジュラージャックを分配する自動転換器 (42ページ参照) をご使用下さい。

電話回線の終端に接続する場合



電話機、モデム等のモジュラーケーブル差込口

(差込口に明記されている LINE や、PHONE 等の文字は、必ずしも上記と同じものとは限りません。ご使用の機器の接続方式に従ってモジュラーケーブルを接続して下さい。)

モジュラージャックを分配する場合

自動転換器 (先取り機能付き*) を使用することにより、電話回線を他の機器と分配して使用することが出来ます。

*先取り機能とは、電話回線を先に使用している機器以外の機器の、電話回線使用を出来なくする機能です。

※単純な分配器を使用した場合、通報中に電話機を受話器を上げた時に通報内容やプッシュトーンが聞こえ、混信によって通報が正しく行われなくなる可能性があります。

※電話機と使用する場合は、テレコンにチェックを付けしないで下さい。

※自動転換器を使用して、1 本の電話回線で複数の WL21AN をご使用する事も出来ます。3 台の場合は 3 口自動転換器を、4 台の場合は 4 口自動転換器をご使用下さい。複数使用する場合、テレコンは 1 台のみ使用可能です。他の WL21AN にはテレコンにチェックを付けしないで下さい。

※2 口自動転換器はナカ電子の NT-320 を推奨します。(オプション品で販売)



入力端子接続

接続

各信号はCOM（共通端子）と1～8の間に接続します。COM（共通端子）は端子の端から2番目ですので、お間違えのないようにご注意ください。信号は無電圧a接点（無電圧b接点）又は、オープンコレクタを接続します。

※接続できる信号は無電圧のものに限ります。商用（AC）100Vや直流電圧がかからないようにしてください。

※設定ソフトで各入力のア接点、b接点を変更することもできます。

※1つの入力に複数の入力を並列に接続して一括故障などとすることもできます。

※入力信号は、700ミリ秒（0.7秒）以上の間継続して警報発生（解除）した時に、入力変化があったとみなします。

端子台

信号入力はコネクタ端子台になっています。端子台は圧着端子不要のワンタッチ式（又は押締方式）で直接電線を接続できます。また、配線工事やメンテナンスの際にはワンタッチでコネクタを抜いて配線作業が行えます。

【ネジ締め式端子台】

信号入出力コネクタの接続電線範囲 AWG28～AWG16 単線0.5Φ～1.3Φ

電線むき長さ 7mm

締めつけトルク 0.22～0.25N・m

単線 又は より線

注意：電線の先端は予備ハンダをしないでください。

【ワンタッチ端子台】

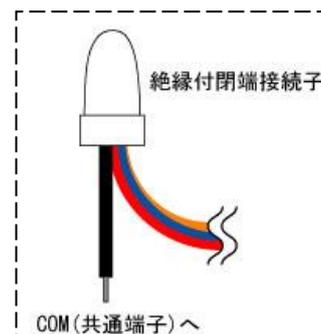
信号入出力コネクタの接続電線範囲 AWG24～AWG16 単線0.5Φ～1.3Φ

電線むき長さ 9～10mm

単線 又は より線（棒端子併用を推奨）

* 電線を端子に接続後は引っ張るなどし、抜けないことを確認下さい。まれに端子内部の金具に挟まっていない場合があります。

* 複数の信号線をCOM（共通端子）に接続する際は、絶縁付閉端接続子でまとめて下さい。（右図参照）



センサー用電源 5V 出力

「+V5」端子は、外部センサーなどの電源に利用するための電源出力です。

※使用できる最大電流は30mAです。

※停電時には電池より電力を供給するので、停電時の通報時間が短くなります。

壁掛けブラケット

本体を固定する場合は、付属の壁掛けブラケットをご使用下さい。

フック部分は、WL21AN ケースに取付済みです。

ベース部分を固定したい場所に取り付けて下さい。（壁掛けブラケットの外形図は61ページです）

フック部品を引掛ける際に方向性がありますので、ベース部分の取付方向にご注意下さい。



ACアダプタの接続

ACアダプタから伸びているコードプラグをWL21ANの「DC-IN」にさし込み、ACアダプタ本体をコンセントに差し込みます。

※POWER (緑) は電源スイッチONの時、ACアダプタから電源供給が無いときでも内蔵電池から電気が供給されていると、点灯します。

※制御盤内部のACコンセントを利用する場合、ACコンセントに電気が来ていないことがあります。制御盤内部のブレーカーやスイッチでコンセント電源を入り切り出来る場合はご注意ください。

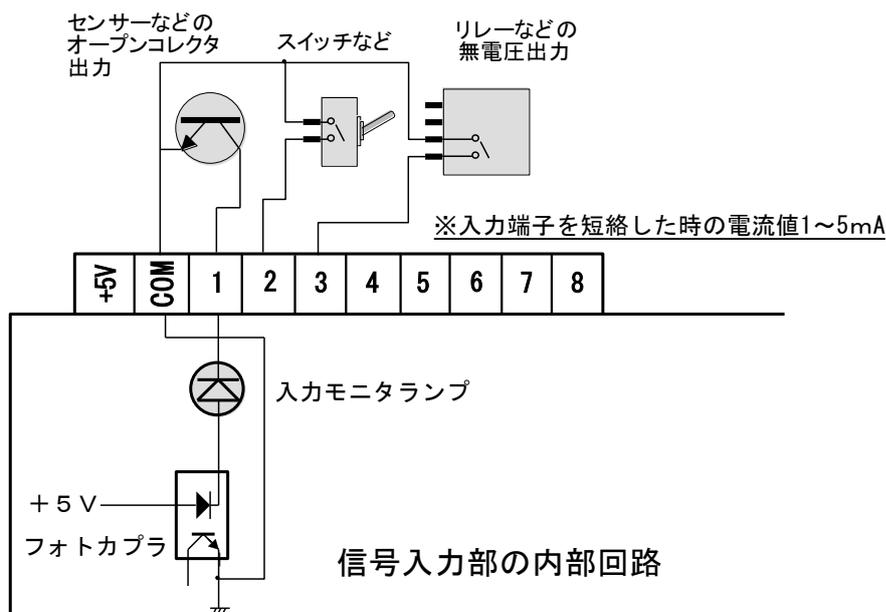
※ACアダプタからの電源供給が無い場合、電源スイッチONにするとLP1 (黄)・LP2 (赤) が点灯して消灯した後、REC/PLAY (赤) が高速点滅します。

運転の開始

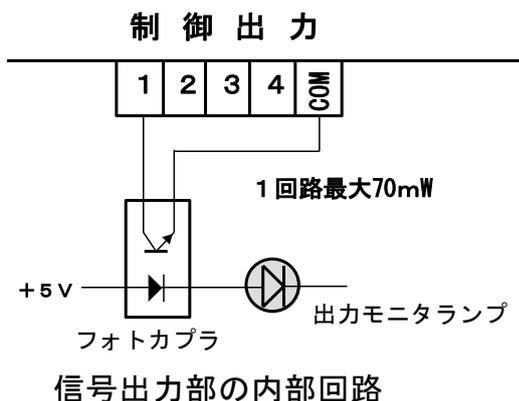
実際に現場に取り付けて使用するときには、次のことに注意して下さい。

- ・「STP」「PLY」「REC」ボタンを押さないで下さい。通常の監視状態でも録音再生が可能になっています。また、音声再生中や録音中は通報できません。
- ・音声チャンネルは0にしてください。
- ・ダイヤル回線でのご使用時は、STPボタン(停止ボタン)を押しながら電源を入れて下さい。

信号入力部の内部回路



信号出力部の内部回路



※信号出力はオープンコレクタ出力です。

※共通端子 (COM) はケース正面から見て出力端子の右端になります。

※電磁リレーを接続しますと故障します。電磁リレーを接続する場合は、オプション品のリレーユニット (45ページ参照) をご使用下さい。

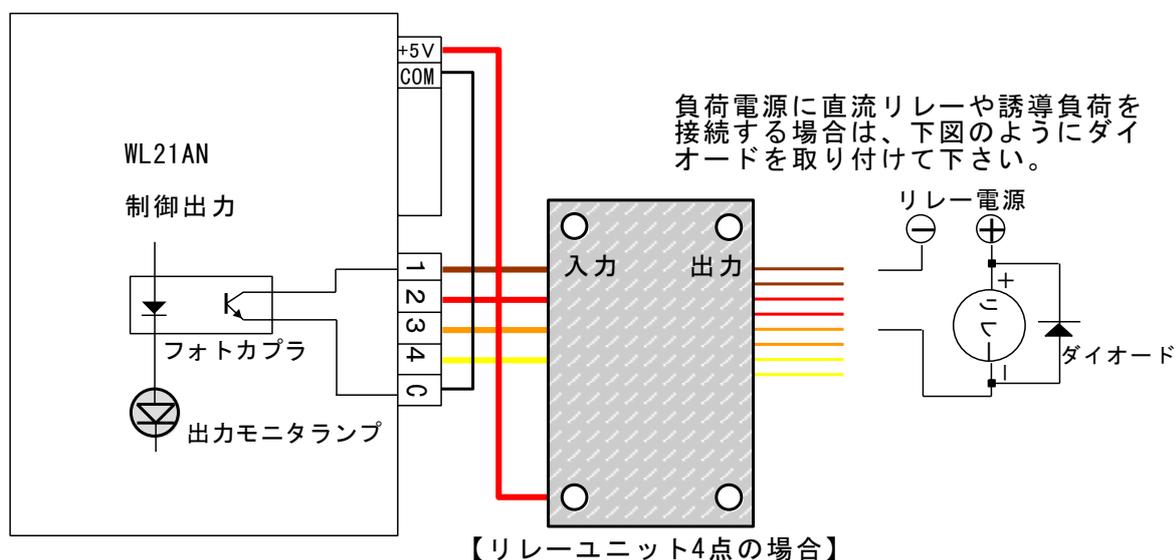
リレーユニット (オプション品)



- ・左図はリレーユニット 8 点用完成品です。
 - ・リレーユニットは受注生産品です。ご注文時に必要な点数 (1 点から最大 8 点まで) をお申し付け下さい。
 - ・ケースはございませんので、適当なケースなどに入れてご使用下さい。
 - ・各リード線は約 30cm です。
 - ・リレーユニット出力に接続出来る負荷・・・AC /DC100V 以下
負荷電流 50mA 以下
- ※出力に 100V を接続する場合は、感電にお気を付け下さい。

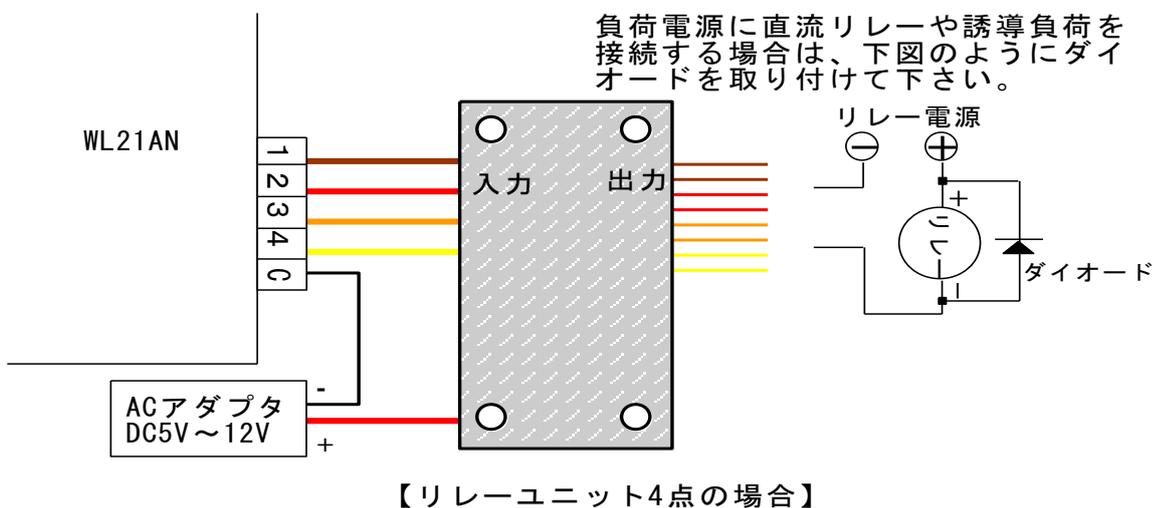
センサー用電源 5V 出力を使用した接続

リレーユニットの入力と WL21AN の出力端子を接続します。
リレーユニットの出力は、同色 2 本のうち片方を共通線にして下さい。方向性はありません。



外部電源を使用した接続

WL21AN のセンサー用電源 5V 出力を使用しない場合は、別途 AC アダプタ (DC5V~12V) をご用意下さい。
リレーユニットの入力と WL21AN の出力端子を接続します。
リレーユニットの出力は、同色 2 本のうち片方を共通線にして下さい。方向性はありません。



通報の受信

受信装置

音声通報、タダ電通報を受信できるのは、一般電話機、携帯電話、PHS です。

メール送信システム(有料)を利用したEメール通報を受信出来るのは、Eメールを受け取れるパソコン、又は携帯電話機です。

携帯メール(SMS)を受信できるのは、ドコモ回線を契約されたSMS受信が可能な携帯端末に限ります。SMS受信拒否設定をしていると、受け取る事が出来ませんのでご注意ください。

音声通報を電話機で受信したとき

電話の呼び出しが鳴ったら受話器をとります。最初に録音チャンネル0の音声メッセージが聞こえ、続いて該当する入力信号に対応する音声メッセージ内容が再生されます。受話器を上げている間、音声メッセージは繰り返し再生されます。

通報先が受話器をとってから120秒を過ぎると、「WL21AN」が電話を切ります。この場合はしばらく待つと再び電話がかかってきます。120秒以内に受話器を下ろすと(通報先側で電話を切る)、「WL21AN」は正しく通報できたと認識して、その通報先への通報を終了します。

注) 通報先が留守番電話に設定している場合、録音時間が120秒以上になっていますと、通報が正常に行えなかったと判断します。設定内容によっては多額の通信料が発生しますので、ご注意ください。

注) 通報先が携帯電話機で、一定時間内に電話に出ないと「おかけになった電話を呼び出しましたがお出になりません。」とのアナウンスが流れる場合は、正常終了しますのでご注意ください。

タダ電通報を受信したとき

電話の呼び出しが何度か鳴ってから切れます。発信番号が表示される電話機で受信してください。

メール送信システム(有料)を利用した場合

弊社サーバーが通報を受け取ると、登録された通報先(メールアドレス)へ通報のメッセージが一斉送信されます。通報先には、弊社サーバーからのEメールが届きます。

送信されるメッセージは、ユーザー登録時に登録したメッセージ内容となります。登録内容の変更も可能です。

注) 設定内容が間違っていると、多額の電話代が請求される場合がありますのでご注意ください。必ず、正常に受信出来る事を確認下さい。

メッセージ部の表示について

「全体の設定」で「各入力信号が解除するたびに解除呼出を行います」を選択している場合、メッセージの後へ「ON」「OFF」等が自動付加されます。この場合、設定画面の「送信メッセージ編集」には「ON」「OFF」等は表示されませんので、ご注意ください。

携帯メール(SMS)を受信したとき

ドコモ回線を契約されたSMS受信が可能な携帯端末のみ受信出来ます。

注) SMS受信拒否設定の場合、多額の電話代が請求される場合がありますのでご注意ください。また、拒否設定により発生した多額の電話代請求について、弊社は一切その責任をおいかねますので予めご了承下さい。

メッセージ部の表示について

「全体の設定」で「各入力信号が解除するたびに解除呼出を行います」を選択している場合、メッセージの後へ「ON」「OFF」等が自動付加されます。この場合、設定画面の「送信メッセージ編集」には「ON」「OFF」等は表示されませんので、ご注意ください。

動作モニタ

表示モニタランプ

起動時

電源 ON で POWER (緑) が点灯後、LP1 (黄)・LP2 (赤) が点灯します。
点灯後すぐに LP1 (黄)・LP2 (赤) は消えます。

◎AC アダプタから電源が来ていなくて電池で動作している場合

REC/PLAY (赤) が 10 回高速点滅します。

◎「電源 ON 時に 60 秒間入力信号を無視する」にチェックが付いている場合

60 秒間 LP1 (黄) が低速点滅します。

設定モードのとき

「LP1 (黄)」「LP2 (赤)」とも点灯

通報の状態から見たとき

- 電話を接続中
「LP1 (黄)」点灯 (受話器を上げたときから受話器を下ろすまでの間)
- 話し中であったとき
「LP1 (黄)」高速点滅 (3秒間) このあと 3 項に進む
- リダイヤル待機中
「LP1 (黄)」低速点滅 (リダイヤルを開始するまで) 待機時間終了で 1項へ進む
- 相手が電話に出なかったとき
「LP2 (赤)」高速点滅 (3秒間) このあとで「LP1 (黄)」が消灯し3項へ進む
- 使われていない番号にかけたとき、回線が繋がらないとき (電話回線に接続されていないとき)
「LP1 (黄)」と「LP2 (赤)」が高速点滅 (3 秒間) この後「LP1 (黄)」「LP2 (赤)」は消灯し 3 項へ進む
相手先番号の確認、または回線の確認が必要。
- 発信先 (相手) が受話器を取ってから120秒以内に受話器を切らない場合
120秒経過するとWL21ANから電話を切る。「LP1 (黄)」が消灯し3項へ進む
- 発信先 (相手) が受話器を取ってから120秒以内に受話器を下ろし、正常に通報が終わったとき
「LP1 (黄)」は消灯し「LP2 (赤)」が6秒間高速点滅して消灯。

ランプの点灯状態から見たとき

LP1 (黄色)	LP2 (赤色)	通報の状態
消灯	消灯	電話が切れている。通報は全て完了している。入力信号待ちの状態。
点灯	消灯	電話をかけているとき。電話がかかってきたとき。着信処理中。
低速点滅	消灯	リダイヤル待機中
高速点滅	消灯	通報先が話し中の時
点灯	点灯	設定モードのとき
消灯	高速点滅	通報が正常に終わった後の6秒間。テレコンが正常に終わった後の6秒間。
消灯	高速点滅	通報先が一定時間、電話に出ず通報装置が電話を切った後の3秒間。
高速点滅	高速点滅	使われていない番号にかけたとき。電話回線が接続されていないとき。

電池について

内蔵電池は停電が発生したときに停電通報するためのものです。停電中の通報動作を保証するものではありません。充電式電池が新品の場合で、完全充電されている状態では1時間以上動作し続けます。動作時間は入力信号が全て警報解除の状態です。入力信号が警報発生の状態や、センサー用電源を使用している場合は、その分電力を消費しますので、動作時間は短くなります。また、通報発信する回数によっても増減します。

※停電中に長時間本機を動作させたい場合は、外部に無停電電源装置等を設置してください。

ニッケル水素充電電池

製品に内蔵している電池は、ニッケル水素充電電池です。

内蔵電池の充電はACアダプタが正しく接続され、商用電源が供給されているときは電源スイッチがOFFでも充電しています。

※充電はトリクル充電方式により、過充電にならない程度に弱い充電を常時行っております。

※電気代はわずかですが、長期間にわたって通報装置として使用されないときはACアダプタをコンセントから抜いておかれることをお勧めします。

※電池の交換によって、設定内容や音声メッセージが消去する事はありません。

電池は2年程度の使用が可能です。手動で、停電状態（ACアダプタのプラグを抜いた状態）にして、通報が必要な時間内に電源ランプが極端に暗くなるようでしたら交換が必要です。

ACアダプタから電源を供給せずに電源スイッチをONにしてお使いになるような場合や、停電が長引いて電池の電圧が完全になくなったときは、完全充電までに72時間以上かかることがあります。

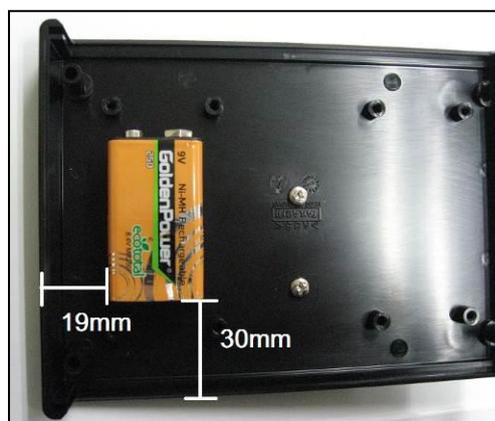
電池の交換をするときは、ケース裏のネジ4本をはずし、上ケースを開けて下さい。電池は下ケースに貼り付けてありますので、基板止めのネジ4本もはずして下さい。

交換する電池は、必ず**ニッケル水素充電電池 006P 9V型 250mAh以上** をご使用下さい。

※アルカリ乾電池をつなげますと火災の原因となります。爆発するおそれもありますのでご使用は絶対にお止め下さい。

※交換用の電池は、下ケースに両面テープで貼り付けて下さい。基板と下ケース間が狭いため、部品の足が電池に当たると上ケースが閉まらない事があります。必ず電池は下図の位置へ貼り付けて下さい。

※電池スナップを電池に接続してから、上下のケース板を下ケースに収めます。



Q & A 困ったときにご覧下さい

一般的なご質問	50
通報・設定についてのご質問	52
メール送信システムについてのご質問	55
携帯メール(SMS)通報についてのご質問	56
テレコンについてのご質問	57
設定ソフトについてのご質問	57

一般的なご質問

Q. 接続出来る一般回線とは

A. 使用出来るのは、NTT仕様のアナログ回線（2線式のプッシュ回線またはダイヤル回線）です。NTT準拠のアナログポートに接続して下さい。例えば、ISDN回線・ADSL回線・光電話・IP電話・PBX。

*それぞれ専用の信号変換機器やモデム又はターミナルアダプタのアナログポートに接続します。

※ダイヤル回線でのご使用時は、STPボタン(停止ボタン)を押しながら電源を入れる必要があります。

注) モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

使用出来ない回線は携帯電話機・PHS・ビジネスホン・ホームテレホン・4線式電話機・専用線です。

Q. ISDN回線を使用できますか

A. ISDN回線に直接接続することは出来ません。ターミナルアダプタのアナログポートに接続して下さい。リダイヤル規制のあるターミナルアダプタに接続した場合は、通報が遅れることがあります。

Q. 内線発信に対応していますか

A. 対応しています。「PBX（内線交換機）での使用について」11ページをご覧ください。

Q. 社内の内線が0発信ではなく「*0」で外線に発信するようになっています

A. 「*0」による外線発信は可能です。設定ソフトの「外線発信番号」ボタンを押して入力すると「0, , 」と電話番号の先頭に入力されます。その後で「*0, , 」に修正してください。「, , 」は0.5秒待つという意味ですので待ち時間がもっと必要なら「, , 」を追加してください。

Q. 1本の電話回線で複数のWL21ANを使用できますか

A. 自動転換器を使用すれば可能です。最初に受話器を上げた回線が有効になり、他の回線に割り込ませません。

※テレコンを使用する場合は、どれか1台のWL21ANだけテレコン可能にし、他のWL21ANは自動着信しないようにして下さい（設定でテレコンにチェックを入れないで下さい）。

WL21ANを2台ご使用したい場合は、2口自動転換器（オプション品の『NT-320』）をご使用下さい。

Q. 取り付けは素人でも出来ますか

A. 侵入通報の用途で、ドアセンサーなどを接続する場合は簡単に取り付けできます。制御盤などに取り付けるときは、電気工事業者にご相談ください。

Q. 屋外に設置したい

A. 製品は、防水暴雨仕様ではありません。水滴や、雨、粉塵等に晒される場所では適当なケースに組み込んでください。

Q. 200V用の製品はありますか

A. 付属のACアダプタは200V対応品となっております。

Q. 装置を取り付けるところに電源がありません

A. 充電された自動車用バッテリーを使うことで長期間の連続利用が可能です。その際には、オプション品の『DC/ACインバータ』をご使用下さい。

Q. どの位の大きさですか

A. ケーブルや突起部分を除いて、横150×縦110×厚み40（mm）です。

Q. 業務用に使った場合に問題はありますか

A. まったく問題ありません。

Q. 装置の寿命はどれくらいですか

A. 故障するケースで最も多いと考えられるのは電話回線や電源からカミナリが入る場合ですが、これはモデム通信装置などでも同様です。防止策としては業務用の回線用避雷器や電源避雷器を組み込むことで改善されます。期待寿命は5年です。機器には寿命のある部品が使用されています。これらの電子部品は、一般の電気機器と同様に時間経過とともに劣化・磨耗していくため予防保全の観点から定期的な交換を行う必要があります。これは機器の機能・性能を保証するものではありません。適切に定期点検が実施され、機器の設置環境に支障がない場合です。

Q. 保証はありますか

A. はい、ご購入後1年間です。

Q. マイクやスピーカーは付属していますか

A. 本体にマイクとスピーカーが内蔵されています。

Q. USB 通信ケーブルを紛失しました

A. 市販のUSB 通信ケーブルA（オス）- B（オス）を購入して下さい。

Q. 入力信号に直流 24V が接続できますか

A. 電圧が掛かった信号は、接続しないで下さい。WL21AN が故障します。24V リレーを間に入れ、無電圧接点信号にしてから接続して下さい。

Q. 1つのセンサーを2台のWL21ANに接続できますか

A. 2つの無電圧接点信号を並列にWL21ANへ接続する事は可能です。1つの回線で2台のWL21ANを使用する場合は、2口自動転換器をご使用下さい。この場合、テレコンは1台しか使用出来ません。

Q. 1つの入力接点に2つのセンサーを接続できますか

A. 可能です。

Q. 付属されたACアダプタとは別のACアダプタを使用したい

A. 付属品以外のACアダプタを使用されますと動作保証外となりますのでおやめください。

Q. 入力LEDが点灯しません

A. COMと入力1（又は2~8）を短絡させて下さい。+V5と入力端子を短絡させても点灯しません。+V5と入力端子を短絡すると故障しますのでご注意ください。端子台とケースの印刷を確認してください。

Q. 2秒間の無電圧接点出力のあるパッシブセンサーを使用できますか

A. できます。700ミリ秒以上の間継続して警報発生（解除）の時に、入力変化があったとみなし通報します。

Q. 無電圧接点を10mくらいの線を入力させても問題ありませんか

A. 問題ありません。

50mまでであれば、 0.75 mm^2 以上の線で雷対策（埋設）を行えばご使用頂けます。誘導雷の混入を防ぐ為に必ず埋設して下さい。

Q. 出力接点をONにしてテスターで計れません

A. リレー接点ではありませんので 0Ω 、 $\infty\Omega$ の切替ではありません。オープンコレクタですのでテスターで計る場合は向きがあります。OFFの時は $\infty\Omega$ でONの時は $300\sim 500\Omega$ くらいです。

Q. 設置後 WhiteLock21ANが動作しているのを確かめたい

A. WhiteLock21ANに電話をかけ、動作していることを音声で確認する事ができます。この場合、設定で着信を許可しておく必要があります。テレコン(39ページ)、テレコンの設定(22ページ)を参照してください。

通報・設定についてのご質問

Q. 音声通報を受けた際に音声メッセージの途中で電話回線が切れます

A. 音声メッセージを電子音声で録音されていませんか。

WL21ANは音で判定しているため、録音された音声に呼出音や話中音と同じ400Hz前後の音が混じっていると、正確に判定できない場合があります。男性の声、または低い音で再録音してみてください。

Q. 音声通報で通報先が電話に出ていないのに通報装置は正常終了してしまう

A. ●通報先が携帯電話機の場合、着信から一定時間内に電話に出ないと、自動的にアナウンスが流れる事があります。この場合、通報装置は通報先が電話に出たと認識し正常終了します。実際に通報先へ電話をかけてアナウンスが流れるかどうかを確認して下さい。

アナウンス例「おかけになった電話をお呼びしましたがお出になりません。」

●接続回線がダイヤル回線の場合は、設定が必要です。本体のSTPボタン(停止ボタン)を押しながら電源スイッチをONにしてください。これでパルス信号が発信されます。この操作は、本体の電源スイッチをONにする時に必ず行ってください。

Q. Eメール通報は出来ますか

A. メール送信システムを利用すれば、Eメール通報が可能です。通報先は最大30ヶ所まで登録する事が出来ます。

Q. 設定を行いましたが通報がきません

A. ●接続されている回線がダイヤル回線ではないでしょうか。ダイヤル回線で使われる場合は、設定が必要です。本体のSTPボタン(停止ボタン)を押しながら電源スイッチをONにしてください。この操作は、本体の電源スイッチをONにする時に必ず行ってください。

●ビジネスホン・ホームテレホン、4線式電話機には接続することは出来ません。ビジネスホン・ホームテレホンに接続されると高い電圧が掛かる為、WL21Nは故障してしまいます。一度でも繋いでしまったのであれば、故障している可能性があります。

●光回線(IP回線)に接続している場合は、電話番号の後に「#」を入れてみて下さい。ルーターがダイヤル後に回線を接続するまでの時間が長い場合、上手く動作しません。「#」を入れる事で早く接続され、正常に通報する場合があります。

*ダイヤル回線に設定すると正常に通報した事例がございます。

●内線交換機をご使用の場合、機種によっては電話をかける場合特殊な番号、たとえば「#9」などを最初にダイヤルしないとかからないものもあります。ご確認ください。

●モジュラーコードが10m以上になる場合は、配線用コード0.4mmをご使用下さい。モジュラーコードでは、抵抗値が低くなる為に正常動作しない恐れがあります。

Q. 音声通報で通報先の電話に出たのに無音のままです

A. 通報装置が呼出音(プルル音)を検出できないため、音声の再生が始まらない状態です。

●コール音(又は着信音)が3回以上鳴ってから電話をとってください。

【 通報先が携帯電話の場合 】

●通報先の携帯電話がiモード通信中で、音声着信を「着信応答」にしている場合などに「おかけになった電話はただいま呼び出しています。しばらくお待ち下さい。」とアナウンスが流れます。この間、通報先の着信音は鳴っているのに、電話をかけた側には呼出音(プルル音)が聞こえない状態があります。この場合、通報先では5回くらい呼出音を鳴らしてから電話に出ないと、正常通報になりません。

●通報先の携帯電話が『メロディコール』(ドコモ)又は『待ちうた』(au・ソフトバンク)サービスに契約されていると、電話をかけた側には呼出音がプルル音に音楽が混じって(又は音楽のみ)聞こえます。この場合、通報先の携帯電話機から設定変更すれば正常通報します。着信電話番号(通報装置から発信する番号)の設定をプルル音に変更して下さい。

Q. ダイヤル回線で通報がきません

A. WL21ANは回線の自動判別機能がありません。下記方法でダイヤル回線用にパルス信号を発信させる事が可能です。本体のSTPボタン(停止ボタン)を押しながら電源スイッチをONにしてください。これでパルス信号が発信されます。この操作は、本体の電源スイッチをONにする時に必ず行ってください。

Q. 通報を受けたとき音声メッセージがすぐに再生されません

A. 通報先が電話に出たのか判定するのに呼出音が3秒以上聞こえないことを確認している為です。呼出音が鳴るタイミングにもよりますが、受話器をあげてから1秒~3秒後に音声メッセージが流れ始めます。

Q. 音声通報を受けて電話を切った後でまた通報がきます

A. WL21ANは通報先が電話を切った後、話中音を確認し、通報先が電話を切ったと判断します。音で判定しているため録音された音声に呼出音や話中音と同じ400Hz前後の音が混じっていると、正確に判定できない場合があります。音声メッセージを録音した後に、無音を2秒程度入れておくことで解決する場合があります。

Q. タダ電通報で呼出音が鳴る回数を指定したい

A. できません。WL21ANは呼出音が鳴ったと判定されたら電話を切ります。通報先の電話機の着信履歴に残すことを目的にしています。

Q. 携帯電話にタダ電通報をしていると何回も通報してきます

A. タダ電通報は呼出音が聞こえたら正常通報となりますので、呼出音が聞こえない状態では何回も電話をかけてしまいます。例えばドライブモードにしていると、呼出音が鳴らずにアナウンスだけが流れます。また、留守番電話サービスの呼出音の鳴る回数を0回にしても、呼出音が鳴らないので何回も電話してしまいます。

Q. 留守番電話で通報を受けると何度も通報してきます

A. 留守番電話の録音時間が120秒以上になっていませんか。WL21ANは通報時に通話時間が120秒以上になると異常と判断しもう一度通報します。留守番電話の録音時間を短くすると正常に通報が終わります。携帯電話の留守番電話サービスは録音時間が変更できませんので、何度もかかってくる場合は留守番電話の機能は使用しないで下さい。

Q. 呼び出し回数が無制限なのはなぜですか

A. 確実に通報する為です。

Q. 接点毎に異なる通報先を指定できますか

A. できません。

Q. 通報先の電話に誰も出ない場合はどうなりますか

A. 電話をかけ、30秒間呼出音を鳴らした後に電話を切ります。10秒待機して、また電話をかけます。以後その繰り返しです。

Q. 現在使われていない電話番号に通報するとどうなりますか

A. WL21ANは、通報先の電話番号が正しく設定されているかどうか認識できません。従って、誤った電話番号を登録されると内容によっては多額の電話代がかかったりする場合があります。ご利用の前には設定後に動作試験を必ず実施してからご使用下さい。

Q. 発信者番号を通知させたい

A. 音声通報、タダ電通報の場合は、通報先の電話番号の先頭に「186」を入力してください。

Q. 1回の通信に要する時間はどれくらいですか

A. ●音声通報の場合は受けた側が電話を切るまでです。但し、通報1回あたり最大120秒を過ぎると自動的に電話を切ります。この場合、通報が正常に終わっていないものと判断し、リダイヤルします。

●メール送信システムへ通報する場合は、1つの通報についての通話時間は28秒以下です。

Q. 接点入力と音声通報のメッセージが違います

A. チャンネルとメッセージの録音が正しいか再生して確認して下さい。「録音再生の操作方法」32ページを参照して下さい。

Q. 入力信号1~8それぞれの音声通報を受けたとき全て同じメッセージが再生されます

A. メッセージ録音時に、録音チャンネル0だけで録音していませんか。「録音再生の操作方法」32ページを参照して下さい。

Q. 通報時にノイズが入ります

A. 入力接点に接続してあるものを外してください。制御盤に取り付けられている場合は本体も外してください。外した状態でノイズが出なければ、外部からノイズが入っている可能性があります。接点から直接ノイズが入っている場合にはリレーを入れるなどしてノイズが入らないようにしてください。また、モジュラーケーブルもノイズの影響を受けますのでシールドしてみてください。

Q. 誤動作などで電話代が多く請求されるようなことはありませんか

- A. 1. 電話の仕組みとして相手が電話に出なければ当然電話代はかかりません。
2. 電話を受けた側が電話を切ればその時点から電話代はかかりません。
※受話器を正しく戻さなかったときでも一定時間(120秒)経過すると電話を切るようになっています。いずれの場合であっても誤動作によって電話代が多くかかることはありません。
※設定内容が間違っている場合や通報先側の設定によっては、多額の通信料が発生する恐れがあります。十分に動作テストを行ってからご使用して下さい。

Q. 電池の充電残量がなくなってから復電した場合に復電通報を行いますか

- A. 行いません。電池の充電残量がなくなってから復電した場合、電源を入れ直した時と同じ状態です。

Q. 停電通報だけ通報しません

- A. 内蔵電池の充電が不十分な場合、POWERランプは点灯しても電話をかけることができません。本体の電源がONの状態ではACアダプタのプラグを抜いた時、POWERランプが通常より極端に暗くなるようですと、充電が不十分な状態です。出荷時には充電が十分されていませんので、本体を72時間通電させた後で停電通報を行って下さい。

Q. 復電通報が12時間も遅れてきました

- A. 通報先が複数あり「全ての通報箇所に通報できたら終了」に設定していませんか。そして、停電通報が終了していなかったのではないのでしょうか。「全ての通報箇所に通報できたら終了」に設定してある場合、1ヶ所でも通報が終わらなければ永遠に通報しようと電話をかけ続けます。停電発生時の通報が終了できないため、復電しても復電通報が来ないということになります。「全ての通報箇所に通報できたら終了」の設定をする場合は、通報先には電話を受けられる番号だけを登録してください。夜は電源を切ってしまう携帯電話などを通報先に設定していると、この様なことがおこります。

Q. 音声録音再生はどのようにして行いますか

- A. 本体上面に録音(REC)・停止(STP)・再生(PLY)の3つのボタンがあります。録音する場合は、録音(REC)ボタンと停止(STP)ボタンを、再生する場合は再生(PLY)ボタンを押して、本体に内蔵されたマイクとスピーカーで録音再生します。

Q. 音声録音された内容を再生してみると前より音質が悪くなりました

- A. ACアダプタを使わず、内蔵電池のみで使った場合に電池の残り電圧が不足していると音質が悪くなります。

メール送信システムについてのご質問

Q. メール送信システムとは

A. WhiteLock (一般回線タイプ) からEメール通報を可能にするシステム (有料) です。

Q. 登録料が必要ですか

A. 登録料は無料ですがシステム料は有料です。通報時の通話料金 (弊社サーバーまでの料金) はお客様負担となります。日本国内 (離島を除く) から通報する場合は、1つの通報について10円程度かかります。

Q. どんな回線でも使用できますか

A. WL21ANが使用出来る回線であれば、ご使用頂けます。なかには、WL21ANで使用出来る回線でも、システムをご使用頂けない回線がございますのでご了承下さい。

※光電話 (IP電話) などに接続されている場合は、19ページの設定方法を参照下さい。

注) モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

Q. 使用出来ない回線を教えてほしい

A. すべての回線でテストを行っていませんので、最新の情報は、ホームページでご確認下さい。

注) モデムやターミナルアダプタなど、ルーター経由での動作保証は致しかねます。

Q. どんなメールアドレスでも登録できますか

A. RFC準拠であれば、ご登録頂けます。下記のようなメールアドレスは、登録出来ません。

- ・ピリオド『.』が連続で入っているメールアドレス
- ・ピリオド『.』が『@』の直前に入っているメールアドレス
- ・ピリオド『.』やハイフン『-』で始まるメールアドレス

Q. 登録後に内容を変更できますか

A. 可能です。ご登録が完了しますと、ご担当者様へ登録完了メールが届きます。この時に、添付される登録シートを使って変更頂けます。ご登録時と同じように、メール添付にて送付下さい。

識別コードは、通報装置に対して登録しますので、電話回線を変更される場合は「接続する電話番号」を変更して下さい。

Q. 通報先へEメールが届きませんか

A. 1. ユーザー登録はお済みでしょうか。

弊社ホームページより登録シートをダウンロード頂き、登録を行って下さい。

2. WL21ANの設定はお済みでしょうか。

登録が完了しますと、弊社より『識別コード』を指定しますので、WL21ANに設定して下さい。

3. 「送信メッセージ編集」内容を「INI」以外にしていますか。また、「各入力信号が解除する度に解除呼出を行います」にチェックを付けない場合は「INI ON」にして下さい。

4. ユーザー登録の「接続する電話番号」と違う電話回線に通報装置を接続していませんか。通報装置を接続している電話回線の番号を登録して下さい。

5. メールを受信される側で、パソコンからのメール受信を拒否もしくは迷惑メール拒否をされていないか確認して下さい。弊社のメール通報システムは、専用サーバーからLANを通して光ケーブルで高速配信している為、送信元はパソコンと同じ扱いになります。

『 whitelock@adocon.co.jp 』からの受信許可設定を行って下さい。

Q. サーバーへダイヤルするとガイダンスが流れますか

A. ガイダンスは流れません。

登録された電話番号か未登録の電話番号にかかわらず自動着信します。その後、登録された電話番号であるか判断し、未登録の電話番号からの電話は数十秒後に切断します。(自動着信後は無音です)

Q. 警報発生メールを受信した直後に警報解除メールを受信する事が頻繁に起こります

A. 警報信号の判定時間が700ms (0.7秒) となっている為、制御盤側で調整するか、出力信号側での工夫が必要となります。

携帯メール(SMS)通報についてのご質問

Q. 携帯メール(SMS)通報とは

- A. ドコモの「ショートメッセージサービス」を使用した SMS メール通報です。
 ショートメッセージとは、携帯電話、PHS、一般回線電話などのプッシュトーンを送れる電話機から、ドコモ回線を契約された SMS 受信が可能な携帯端末へ文字メッセージを送るサービスです。
 電子メール (Eメール) ではありませんので、パソコンやドコモ以外の携帯電話機では受け取れません。
 WL21AN からドコモのショートメッセージセンターへメッセージを送ります。
- ・最大文字数 全角半角にかかわらず 50 文字
 - ・センター保存 72 時間
 - ・発信者番号 通知可
 - ・使用可能な文字コード フリーメッセージ(*2*2) 句点コード(#)

Q. 携帯メール(SMS)で通報させる設定をしたのに、通報できません

- A. 「通報先の電話番号」の先頭に「186」が入力しないで下さい。また、「通報先の電話番号」が下記のようなショートメッセージメールを受信出来ない電話番号を設定していないかご確認下さい
1. 固定電話番号
 2. 使用されていない携帯電話番号
 3. ドコモ回線以外で契約された携帯電話番号
 4. ショートメッセージメール(SMS)の受信を拒否設定している携帯電話番号
- 注) 上記の電話番号への通報によって発生した多額の電話代請求について、弊社は一切その責任をおいかねますので予めご了承下さい。**

Q. 半角の小さいカタカナ「アイエオヤユヨツ」を送信したい

- A. できません。全角の小さいカタカナ「アイウエオヤユヨツ」なら送信できます。

テレコンについてのご質問

Q. テレコン (テレコントロール) とは

A. 外出先から電話を使って、機器の状態確認や制御することです。

Q. 制御出力4点の状態をテレコンで確認出来ますか

A. 出来ません。状態確認出来るのは入力8点のみです。

Q. FAX や他の電話と並列に繋いでいるときでもテレコンが可能でしょうか

A. この場合、早い者勝ちで電話をとることになりますので、テレコンを使用する場合は他の機器と並列に繋がらない様にして下さい。

Q. 入力1が警報発生の際にテレコンで状態確認すると『全解除』のメッセージが流れます

A. 入力1の通報が終了してからテレコンで状態確認をして下さい。

Q. テレコンの出力端子の共通端子はどれですか

A. 右端の端子です。「COM」とケースに印刷されています。(44ページの「信号出力の内部回路」参照)

設定ソフトについてのご質問

Q. 設定内容の転送・読み込みが出来ません

A. USB ドライバがインストールされているかご確認下さい。また、設定ソフトとパソコンの COM 番号が合っているかを確認して下さい。確認・設定方法は28ページを参照下さい。

Q. 設定を転送するときに「バージョンが合いません」と表示されます

A. 本体と設定ソフトのバージョンの組み合わせが正しくない場合に表示されますので、バージョンを確認してください。バージョンが正しいのに表示される場合は、通信が正常に行われていない可能性があります。「通信ポート設定」で、「通信ポートを自動的に検出する」のチェックを外して、直接使用するポートを指定してください。

Q. 設定内容の転送するときに「判別不可能な機種が接続されています」と表示されます

A. WL21AN 設定ソフトをご使用でしょうか。「ヘルプ」-「バージョン情報」をクリックし「Version 1.0.0」であることを確認して下さい。WL21A 設定ソフト「Version 2.0.0」や「Version 1.4.6」でのご使用は出来ません。

Q. Windows で使用できますか

A. Windows 7/8/10 で動作します。

Q. 設定ソフトが開けません

A. 設定ソフトを取扱説明書通りにインストールせず、設定ソフト exe のみインストールした場合は、VB6 ランタイムモジュールが必要です。

Q. 設定ソフトで WL110 の設定ファイルを読み込めますか

A. できません。

Q. 設定ソフトは付属されていますか

A. 付属していません。弊社ホームページ<https://www.adocon.jp/>の「設定ソフト」より WhiteLock21AN のファイルをダウンロードし、任意のドライブに保存した後、ダブルクリックして実行してください。セットアッププログラムが実行されます。設定方法については13ページの「設定ソフトのインストール」からご覧下さい。

こんなときには

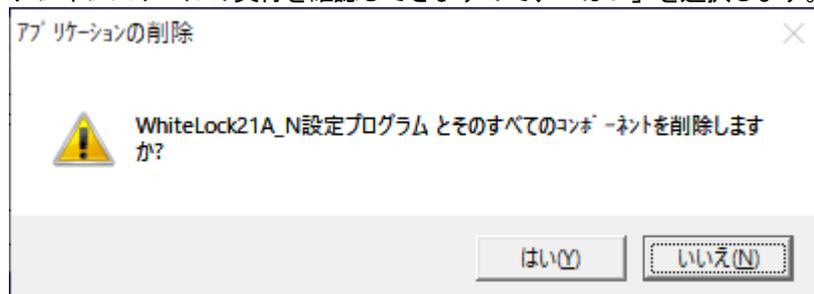
設定ソフトウェアのアンインストール

[スタート] ボタンをクリックし [Windows システムツール] にある [コントロールパネル] を選択します。次に [コントロールパネル] の [プログラム] を選択し、 [プログラムと機能] にある [プログラムのアンインストール] を開きます。

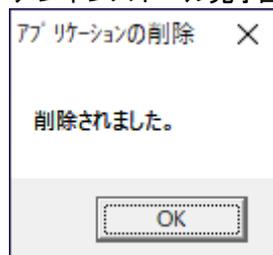
[WhiteLock21A_N 設定プログラム] を選択し 「アンインストールと変更」 をクリックします。



アンインストールの実行を確認してきますので、「はい」を選択します。



アンインストール完了画面です。



※アンインストールを実行しても、インストールしたフォルダは自動削除されません。手動でフォルダを削除して下さい。

本体を清掃するときは

本体のよごれは、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、有害なガスが発生したり、変形や変色の原因になることがあります。

仕様

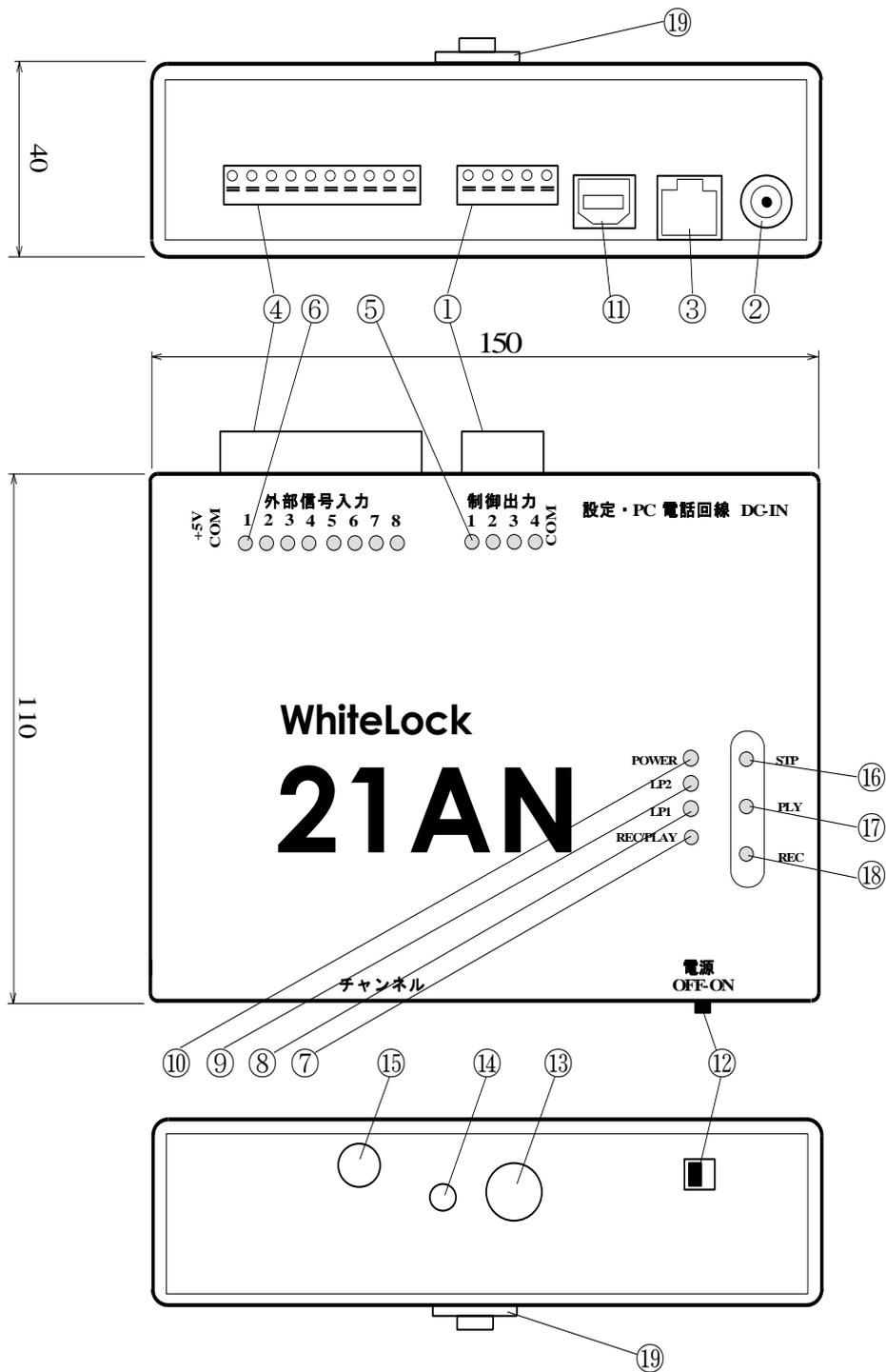
「WhiteLock21AN」 本体

形式	音声及びDTMF呼出方式非常通報装置
適用回線	NTT仕様のアナログ電話回線(2線式)
回線接続方式	通信コネクタ (モジュージャック)
選択信号種別	プッシュボタン (PB) または、ダイヤルパルス (DP:20PPS)
動作設定	パソコン用専用ソフトウェアで設定内容を転送する
信号入力点数	8点 (無電圧接点またはオープンコレクタ)
停電復電検出機能	本体内部に停電復電検出機能搭載
信号出力点数	4点 (オープンコレクタ出力)
自動発信	入力変化
Eメール発信	可 (メール送信システムを利用)
話し中検知機能	あり (話し中及び通信が確立しないときにリダイヤル)
音声録音方式	圧縮無し直接録音方式
音声録音時間	16チャンネル装備 1チャンネル10秒 合計160秒
音声メモリバックアップ	不要 (フラッシュメモリー)
録音再生方法	マイクとスピーカーを搭載 録音・停止・再生ボタン操作による
停電通報	内蔵電池により1時間程度
制御CPU	8ビットマルチCPU
外部インターフェース	USB 2.0 USBハブには接続できません
電源	AC アダプタ AC100-240V 50/60Hz
動作温度範囲	0 °C ~ 40 °C
動作湿度範囲	15 % ~ 80 % (結露なきこと)
周囲環境	腐食性ガスなきこと 粉塵等汚れの激しい場所での使用はカバー等で保護して下さい
呼出電話番号設定	最大6カ所
内蔵電池	006P DC9V 250mAh ニッケル水素充電電池
寸法 (mm)	150 (W) × 110 (H) × 40 (D)
重量	重量 約 300g 端子台・電池込みの本体重量
動作電圧	9.5V~10.0V
消費電流	80mA (最大170mA)

設定ソフトウェア

型式	WhiteLock21A_N 設定ソフトウェア
動作環境	Windows 7、Windows 8、Windows 10 日本語のみ対応 メモリ 64M以上 ディスク空き容量 7M以上

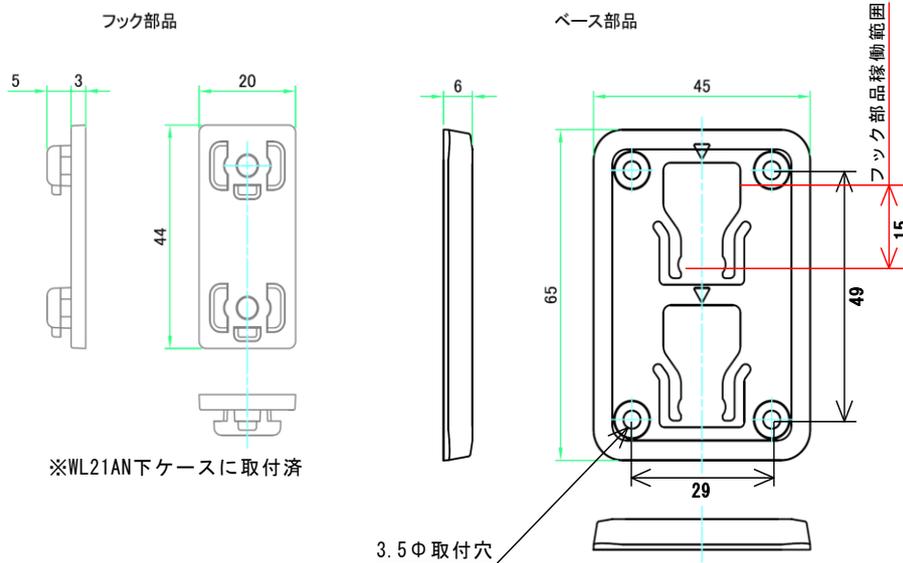
外形図



1	制御出力コネクタ	11	設定用 USB コネクタ
2	電源直流入力コネクタ	12	電源スイッチ
3	電話回線モジュージャック	13	再生用スピーカー
4	外部信号入力端子	14	録音用マイク
5	制御出力モニタランプ	15	録音再生・チャンネル切替スイッチ
6	外部信号入力モニタランプ	16	録音再生・停止押しボタンスイッチ
7	録音再生モニタランプ	17	録音再生・再生押しボタンスイッチ
8	動作モニタランプ1	18	録音再生・録音押しボタンスイッチ
9	動作モニタランプ2	19	壁掛けブラケット
10	電源ランプ		

壁掛けブラケット外形図

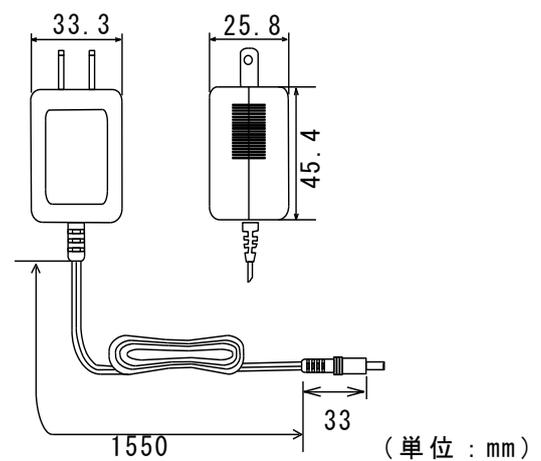
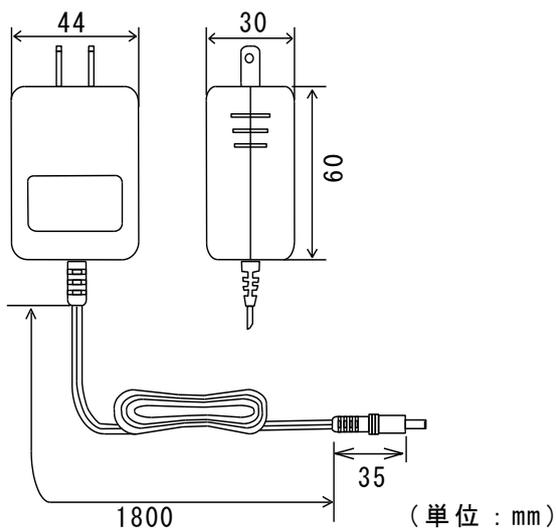
フック部分は、WL21AN 下ケースに取付済みです。
 ベース部分にフック部品を引掛ける際の方向性があります。
 ベース部品を設置する際には、方向と稼働範囲にご注意下さい。



ACアダプタ外形図

(2017年1月発売から2019年3月13日出荷分まで)

(2019年3月14日出荷分から)



バージョン

WL21AN	取扱説明書	設定ソフト	日付
Ver 1.00/400	Ver 1.00	Ver 1.0.0	2017/01/19
	Ver 1.01		2017/09/13
	Ver 1.02		2018/04/20
	Ver 1.03		2018/07/20
	Ver 1.04		2020/07/28
	Ver 1.05		2020/09/11
	Ver 1.06		2020/12/03
	Ver 1.07		2021/01/21

更新履歴

2017/01/19

Ver1.00

- ・ WhiteLock21AN 作成

2017/09/13

Ver1.01

- ・ 自動回線判別ではなく標準がプッシュ回線対応であることを追加
- ・ ダイヤル回線対応の設定方法を追加
- ・ その他細かいところの修正
- ・ ルーター経由について動作保証はしないことを追加
- ・ 光回線（IP 回線）で上手く繋がらない場合は、電話番号の後に「#」を入れる事を追加

2018/04/20

Ver1.02

- ・ 通報先が携帯電話機の場合、着信から一定時間内に電話に出ないと自動的にアナウンスが流れる時の動きを追加
- ・ メール送信システムの設定で b 接点の場合に説明を追加
- ・ 音声録音時に必ず再生しランプが消灯する事を確認するよう追加
- ・ その他細かいところの修正

2018/07/20

Ver1.03

- ・ 電池は 2 年程度の使用が可能と変更
- ・ 設定ソフト対応 OS に Windows10 を追加
- ・ WindowsVista /XP のサポートは終了した事を追加
- ・ その他細かいところの修正

2020/07/28

Ver1.04

- ・ 音声メッセージ再生時は REC/PLAY ランプのみ点灯する事を修正
- ・ 光回線（IP 回線）でダイヤル回線に設定すると音声通報が正常に動作した事例がある事を追加
- ・ その他細かいところの修正

2020/09/11

Ver1.05

- ・ メール送信システムの電話番号を『0852673441』へ変更
- ・ 付属の電池は停電が発生したときに停電通報するためのもので停電中の通報動作を保証するものではない事を追加
- ・ その他細かいところの修正

2020/12/03

Ver1.06

- ・ 使用できる回線を「NTT 仕様のアナログ回線（2 線式のプッシュ回線またはダイヤル回線）」と修正
- ・ メール送信システムの電話番号について、2020 年 12 月 31 日で「05055025281」の電話回線は停止する事を追加
- ・ SMS 通報先について、「ドコモ回線を契約された SMS 受信が可能な携帯端末に限る」と修正
- ・ その他細かいところの修正

2021/01/22

Ver1.07

- ・ 問い合わせ先のホームページに QR コードを追加
- ・ メール送信システムを光回線で使用する場合の設定方法の修正
- ・ その他細かいところの修正

索引

A		け	
ACアダプタ.....	44, 61	警報解除.....	35
a接点.....	22	警報発生.....	35
B		こ	
b接点.....	22	個別解除呼出.....	36
C		コマンド.....	40
COM.....	43	さ	
E		再生.....	32
Eメール.....	34	し	
I		識別コード.....	23
ISDN回線.....	42	自動転換器.....	42
P		出力信号.....	40
PBX.....	11	信号出力部.....	44
S		信号入力部.....	44
SMS.....	20, 34, 37, 46	す	
U		スピーカー.....	32
USBケーブル.....	25	せ	
USBドライバ.....	16	清掃.....	58
あ		設定ソフト.....	13
アナログポート.....	42	全解除通報.....	35
アンインストール.....	58	センサー用電源.....	43
い		そ	
インストール.....	13	送信メッセージ.....	23
お		た	
音声通報.....	18, 34, 37, 46	ターミナルアダプタ.....	42
か		ダイヤル回線.....	1, 8, 42
解除呼出.....	21, 35	タダ電通報.....	20, 34, 37
外線発信番号.....	18	端子台.....	43
壁掛けブラケット.....	42, 43, 61	ち	
き		チャンネル.....	31
共通端子.....	43	つ	
		通信ポート.....	25, 28
		て	
		停電.....	21, 36
		テレコン.....	22, 39
		電源スイッチ.....	33
		転送.....	26
		電池.....	48
		な	
		内線交換機.....	11
		に	
		ニッケル水素充電電池.....	48
		入力信号.....	22
		は	
		パスワード.....	39
		ひ	
		ビジネスホン回線.....	8
		ふ	
		復電.....	21, 36
		プッシュ回線.....	1, 8
		ほ	
		ホームテレホン回線.....	8
		ま	
		マイク.....	32
		め	
		メール送信システム.....	19, 34, 37, 46
		も	
		モニタランプ.....	47
		よ	
		読み込み.....	27
		り	
		リレーユニット.....	45
		ろ	
		録音.....	31, 32

WhiteLock21AN

取扱説明書

Ver1.07

2021年1月

発行元 株式会社アドコン

<https://www.adocon.jp/>

〒690-2101 島根県松江市八雲町日吉 3-24

TEL (0852) 54-2036 FAX (0852) 54-2196